

# 清く豊かに川は流れる

## [アジェンダ21桂川・相模川]

### 2006年度活動報告

---

桂川・相模川流域協議会

## 巻頭のごあいさつ

### — 今、桂川・相模川流域協議会に期待されていること —

ボランティア活動に志をもっている市民が意外に多いことに実は驚いている。

少し古い話だが、昨年2月、ひらつか市民活動センターで「ボランティア博覧会」というのがあった。参加してみて驚いたのは、実に多くの市民が、思いもつかなかった多様な分野で、実に様々な活動を繰り広げていることであった。流域協議会は、ちょっと敷居が高いという感じも持たれているらしい。運営の仕方にまだ問題があるのかもしれないが、昨年、会員に「(相模川湘南地域協議会の)運営委員をやってくださる方はいませんか」と問いかけたところ、2名の会員が運営委員会に参加して下さり、新鮮な空気を吹きこんでくださった。

積極的に活動に参加したいという市民は随分多いのではないかと、私たちの活動がその人たちに届いていないだけかもしれない。そう思えば活動の行く先は無限に広がっていきそうだ。

【市民部会 相模川湘南地域協議会運営委員会代表 井上 駿】

### — 海岸ゴミの約7割は川からやってくる —

「片付けても片付けても、一雨来れば、上からゴミがどばっとやってくる」それが海岸のゴミの現状です。当財団が処理する海岸のゴミの量は、年間約7,000トン。この莫大なゴミの約7割は川からやってきます。

そのため、海岸のゴミを減らしていくためには、沿岸部だけではなく、河川の上・中流域を含めた広域的な環境への取り組みが必要不可欠です。

昨年の夏、桂川・相模川流域協議会のご尽力により、山梨県の子供たちが茅ヶ崎の海岸を訪れ、清掃をしてくれました。そして清掃後に、当財団から子供たちへ海岸のゴミについて話をいたしました。こうした次の世代へ向けて体験プラス講習という具体的な働きかけこそが、長い目で見れば、海岸だけでなく社会全体からゴミを減らし、豊かな環境を保全していくことへ効果を発揮していくことになると思います。

そういった意味においても、河川の上・中流域との連携の拠点となるこの協議会の存在は大きく、財団としても出来る限り協力していきたいと考えております。

【事業者部会 財団法人かながわ海岸美化財団 柱本 健司】

### — 「環境共生都市」を目指して —

相模原市は、昨年の津久井町、相模湖町との合併に引き続き、本年3月11日に城山町、藤野町と合併し、面積328.84km<sup>2</sup>、人口約70万人の新「相模原市」が誕生しました。

相模原市では、これまでも「環境共生都市」を目指し、様々な取り組みを進めてまいりましたが、合併により、県民の水がめである相模湖、津久井湖等を有することとなり、水源地域として、環境への取り組みをさらに進める必要があります。

また、水源環境を保全していくためには、広域的な取り組みが必要であり、山梨、神奈川両県の「市民、事業者、行政」が一体となって様々な取り組みを進めている桂川・相模川流域協議会と連携を図りながら、実効性のある環境保全の取り組みを進めてまいりたいと考えております。

【行政部会 相模原市環境保全部環境対策課 下村 敏之】

# 目 次

|                                           |    |
|-------------------------------------------|----|
| ○ 「アジェンダ 21 桂川・相模川」基本理念 .....             | 3  |
| ○ 2006 年度の主な行事の概要 .....                   | 4  |
| ○ 桂川・相模川流域協議会の組織 .....                    | 6  |
| 1 総会・部会等の開催 .....                         | 7  |
| (1) 会議開催状況 .....                          | 7  |
| (2) 専門部会の開催 .....                         | 9  |
| ア アジェンダ専門部会 .....                         | 9  |
| イ 森づくり専門部会 .....                          | 10 |
| 2 上下流交流事業 ～地引き網体験と海岸清掃～ .....             | 12 |
| 3 桂川・相模川流域シンポジウム                          |    |
| 水源地からの警告 ～誰が私たちの飲み水を守るのか～ .....           | 14 |
| (1) はじめに .....                            | 14 |
| (2) 山梨県内流域市町村からの報告と再発見 .....              | 16 |
| (3) 流域交流会「みんなで意見交換」の内容 .....              | 19 |
| 4 環境調査事業 .....                            | 21 |
| (1) 相模川の支流合流点横断工作物調査 .....                | 21 |
| (2) 身近な水環境の全国一斉調査 .....                   | 24 |
| (3) シジミ類共同調査、「川の日」ワークショップで準グランプリ受賞！ ..... | 26 |
| 5 洗剤対策事業 .....                            | 27 |
| 6 流域ツアー＆ウォッチング .....                      | 28 |
| 7 桂川・相模川クリーンキャンペーン 2006 .....             | 30 |
| 8 流域データベース化共同事業 .....                     | 34 |
| 9 会報誌の発行事業 .....                          | 36 |
| 10 ホームページ運営事業 .....                       | 37 |
| 11 地域協議会の活動 .....                         | 38 |
| (1) 桂川・東部地域協議会 .....                      | 38 |
| (2) さがみはら地域協議会 .....                      | 40 |
| (3) 相模川湘南地域協議会 .....                      | 42 |
| (4) 相模川よこはま地域協議会 .....                    | 44 |
| 12 外部との交流・連携 .....                        | 46 |
| ○ 資料 .....                                | 49 |

## 「アジェンダ 21 桂川・相模川」基本理念

私たちは、桂川・相模川の将来像を「清く豊かに川は流れる」とイメージします。

河川の豊かな水は、多くの生物を育み、生物はまた、水を自然浄化します。清流は、ただ清らかに澄んでいるだけではなく、流れることによって、豊かで多様な生物の共存を可能にしています。

桂川・相模川は、これまで、清く豊かな流れによって森と海を結び、空と地表と地下をつなぎ、多様な生物と人間を共存させ、地域の風土と文化、経済の中心になってきました。

しかし、20 世紀半ば以降、首都圏の周縁をなす流域とその周辺の人口の増加、社会経済の急激な発展を背景に、水需要が増大し、川の水が大量に使用されるとともに、汚濁物質が流入するなど、桂川・相模川の水量の減少と水質の悪化は大きな問題になっています。また、治水事業・利水事業は、私たちの安全で快適な生活の確保に役割を果たしてきましたが、反面では、生物の生息・生育環境を含めた自然環境に大きな影響を与えています。

私たちは、古くから桂川・相模川の恩恵を一身に受けてきました。そして、今日、桂川・相模川は、流域の住民はもとより、その恵みを受けているすべての生物と人々、あらゆる主体にとっての共有財産となっています。

こうした認識のもとに、私たちは、桂川・相模川を悠久のものとして将来の世代に引き継ぐため、市民、事業者、行政の合意に基づいて、次のことを基本理念として、「アジェンダ 21 桂川・相模川」を策定し、実行していきます。

- (1) 私たちは、清く豊かに流れる桂川・相模川の恵みの中で、健康で安全かつ文化的な生活を営む権利を有するとともに、この川の恵みを将来にわたって子孫とすべての生物が公正に受けられるよう継承する責務がある。
- (2) 私たちは、流域に関わるすべての人々の社会経済活動や生活様式が桂川・相模川に大きな負荷を与えていることを認識し、これらを環境の視点から見直し、豊かで多様な生命を育むことができる、環境への負荷が少ない持続可能な発展を基調とした環境保全型社会を形成するよう行動する。
- (3) 私たちは、桂川・相模川に係わるすべての事業活動において、地域の自然的社会的条件に応じて、その計画段階から、良好で健全な自然環境の保全・回復を重視し、生活環境及び社会環境についても、総合的に配慮する。
- (4) 私たちは、上流と下流、市民と事業者と行政など、様々な立場の違いを越えて互いに交流を深めながら協働するとともに、自らの責務を自覚し、各々の役割分担と公平な負担のもとに、自主的かつ積極的に行動する。
- (5) 私たちの行動の前提として、情報の共有化が必要であり、桂川・相模川に関する市民、事業者、行政の情報は、公開を原則とする。

私たちは、桂川・相模川に係わる政策や事業の立案と推進にあたって、桂川・相模川に関心と利害を持つすべての主体の参加を得て行われるよう努力する。

1999 年 9 月 14 日策定

## 2006 年度の主な行事の概要



5月27日(土)  
2006 年度総会  
【ソレイユさがみ  
(神奈川県相模原市)】

8月22日(火)  
上下流交流事業  
「地引き網体験と海岸清掃」  
【神奈川県茅ヶ崎海岸等】



4月

5月

6月

7月

8月

9月

通年  
クリーンキャンペーン

6月4日(日)  
「身近な水環境の  
全国一斉調査」に参加  
【流域各地】

9月23日(土)  
森づくり専門部会 見学会  
～ 新月伐採 ～  
【山梨県上野原市・大月市】

### 地域協議会の活動

|            |                                                                                                                                                                                                                                          |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 桂川・東部地域協議会 | 4月30日…植樹体験(大月森づくり会協賛事業)、5月7日…総会、7月22日…奈良子自然体験教室、8月25日及び9月8日…川の中の実態調査、9月5日…浄化槽先進地視察(旧牧丘町、旧三富村)、9月15日…クリーンキャンペーン、9月27日…浄化槽研修会、10月3日…流域の先進地視察(道志村)、3月21日…きのこ植菌体験教室、通年…NO <sub>2</sub> 測定調査                                                  |
| 相模川湘南地域協議会 | 4月22日…総会、7月22～23日…茅ヶ崎市文化資料館「夏休み自然教室」に出展、8月22日…上下流交流事業に協力、9月16日…見学学習会「展示にみる相模川の姿、相模川の舟運の歴史」、10月14日…現地観察会「相模川下流部左岸に広がる水害防備林」、11月2日…学習会「今年の各河川の水質はどうだったか」、11月初旬…「湘南野鳥図鑑」刊行、2月18日…ひらつか市民活動センター「ボランティア博覧会」出展、3月11日…シンポジウム「湘南の豊かな自然に生きる野鳥たち」開催 |



11月12日(日)  
桂川・相模川流域シンポジウム  
【上野原市文化ホール  
(山梨県上野原市)】

1月13日(土)  
環境調査事業  
第1回相模川の支流合流点  
横断工作物調査

3月13日(火)  
環境調査事業  
第2回相模川の支流合流点  
横断工作物調査

10月

11月

12月

1月

2月

3月



2月20日(火)  
第26回 流域ツアー&ウォッチング  
桂川・相模川の源流 山中湖村訪問

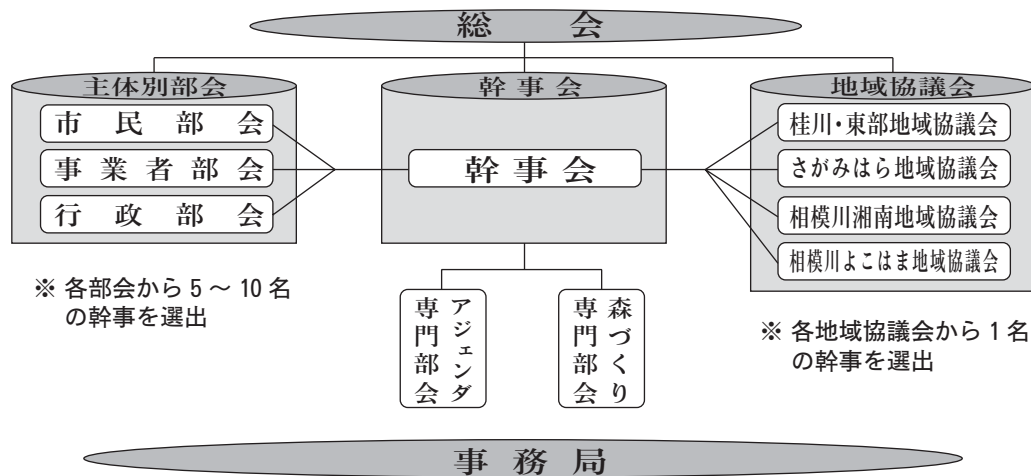
相模川よこはま地域協議会

6月8日…総会、6月25日…「温暖化防止エコ交流ツアー」共催、  
10月1日…見学会(金町浄水場)、10月9日…「ぐるっとお散歩篠  
原展」参加、10月21～22日…「かながわアジェンダの日2006」出  
展、10月30日…見学会(栄第二水再生センター)、12月12日…「酒  
匂川流域との交流会」開催、12月17日…「地球温暖化防止の集い  
“みず分科会”」、3月17～18日…「市民活動フェア2006」出展、  
3月24日…水源地域学習会(七沢、宮ヶ瀬)

さがみはら地域協議会

6月11日…第1回里山体験講座「田植えとホタル観察会」、6月17日  
…総会、8月28日…第2回里山体験講座「田んぼの草取りと生き物調  
査」、10月15日…第3回里山体験講座「稲刈り」、10月21～22日…相模  
原市主催「みんなの消費生活展」出展、11月26日…第4回里山体験講  
座「収穫祭」、12月10日…第5回里山体験講座「里山の手入れ」、3月  
17日…「生ごみフォーラム～生ごみは宝物～」開催、通年…生ごみ堆  
肥化事業、環境調査事業「相模川の支流合流点横断工作物調査」に協力

## 桂川・相模川流域協議会の組織



### 幹事会

市民、事業者及び行政の 3 者間の協議を行うため、幹事会が設けられています。幹事会に参加する幹事は、3 つの主体別部会及び地域協議会から選出され、それぞれの主体別部会や地域協議会の中で話し合われた内容を協議し、合意の形成を図ります。

### 専門部会

幹事会には、流域の環境保全に関して専門的な検討を行うため、必要に応じて専門部会を設置することができます。専門部会には、扱う専門的な課題に関係のある主体が参加し、必要に応じて専門家の出席及び協力を求めることができます。専門部会での検討結果は、幹事会に報告されます。

### 監事

会計及び事業に関して監査を行うため、各主体から監事を選出します。

### 主体別部会

桂川・相模川流域協議会には、市民部会、事業者部会及び行政部会の 3 つの主体別部会が設けられています。流域協議会の会員は、それぞれ該当する部会に参加することになります。

### 地域協議会

流域環境の保全を効果的に行うため、市町村や支川単位、又はいくつかの市町村にまたがって設置します。地域協議会の運営については、各地域協議会が定めることとなっており、地域の実情にあわせた独自性のある運営が可能です。

# 1 総会・部会等の開催

- (1) 会議開催状況 (報告者：神奈川県環境農政部大気水質課)  
「アジェンダ 21 桂川・相模川」の推進、実行のための行動指針・行動計画の検討等を中心に、総会、幹事会、主体別部会（市民部会、事業者部会及び行政部会）及び専門部会を開催しました。

## ア 2006 年度 月別会議開催状況

|         | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計  |
|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 総 会     |    | 1  |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | 1  |
| 幹 事 会   |    | 2  |    | 1  |    | 1  |     | 1   | 1   |    | 1  | 1  | 8  |
| 専 門 部 会 |    | 1  |    | 1  | 1  |    |     |     |     |    | 1  | 1  | 5  |
| 市 民 部 会 | 1  | 1  | 1  | 1  |    | 1  | 1   |     | 1   | 1  | 1  | 1  | 10 |
| 事業者部会   | 1  |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | 1  |
| 行 政 部 会 | 1  |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | 1  |
| 計       | 3  | 5  | 1  | 3  | 1  | 2  | 1   | 1   | 2   | 1  | 3  | 3  | 26 |

## イ 会議等の概要

### (ア) 総会

- 定期総会【5月27日（土）ソレイユさがみ、出席者 51 名】
  - 《議案》（第1号）2005 年度事業報告（案）及び収支決算（案）について
  - （第2号）2006 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
  - （第3号）役員改選について
  - （第4号）規約改正について
- 《講演》「山・川・海のつながりについて」  
四日市大学環境情報学部教授 松永 勝彦 氏

### (イ) 幹事会 ( 議題については、主なものを記載 )

- 第1回【5月17日（水）八王子市クリエイイトホール、出席者 21 名】
  - ・2006 年度 桂川・相模川流域協議会総会について
- 第2回【5月27日（土）ソレイユさがみ、出席者 30 名】
  - ・2006 年度 代表幹事の選出について
- 第3回【7月14日（金）八王子市クリエイイトホール、出席者 22 名】
  - ・流域シンポジウムについて
  - ・森づくり専門部会及びアジェンダ専門部会について
- 第4回【9月14日（木）八王子市クリエイイトホール、出席者 18 名】
  - ・流域シンポジウムについて
  - ・森づくり専門部会について
- 第5回【11月6日（月）八王子市クリエイイトホール、出席者 21 名】
  - ・洗剤対策事業について
  - ・流域シンポジウムについて
  - ・魚道調査及び魚道ウォッチツアーについて
- 第6回【12月20日（水）八王子市クリエイイトホール、出席者 17 名】
  - ・2007 年度予算について
  - ・アジェンダ専門部会の開催について
  - ・水源環境保全・再生かながわ県民会議委員の選定について
- 第7回【2月9日（金）八王子市クリエイイトホール、出席者 21 名】
  - ・水源環境保全・再生かながわ県民会議委員の選定について
  - ・2007 年度予算について

- 第8回【3月22日（木）八王子市クリエイティブホール、出席者22名】
  - ・2006年度事業報告（案）及び収支報告（案）について
  - ・2007年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

（ウ）専門部会 （ 森づくり専門部会の議題については、主なものを記載 ）

- 第1回アジェンダ専門部会【5月17日（水）八王子市クリエイティブホール、出席者27名】
  - ・かながわ水源環境保全・再生施策と桂川・相模川流域協議会との係わりについて
- 第2回アジェンダ専門部会【8月28日（月）八王子市クリエイティブホール、出席者19名】
  - ・かながわ水源環境保全・再生施策について
- 第3回アジェンダ専門部会【2月9日（金）八王子市クリエイティブホール、出席者24名】
  - ・相模湖・津久井湖窒素排出源調査結果について
- 第1回森づくり専門部会【7月26日（水）八王子市クリエイティブホール、出席者8名】
  - ・2006年度事業について
- 第2回森づくり専門部会【3月22日（木）八王子市クリエイティブホール、出席者10名】
  - ・2007年度事業について

（エ）市民部会 （ 議題については、主なものの議題 ）

- 第1回【4月1日（土）相模湖交流センター、出席者10名】
  - ・役割分担、担当幹事について
- 第2回【5月6日（土）サン・エールさがみはら、出席者15名】
  - ・2006年度 桂川・相模川流域協議会総会について
- 第3回【6月3日（土）相模湖交流センター、出席者5名】
  - ・第1回アジェンダ専門部会（かながわ水源環境保全・再生施策）について
- 第4回【7月1日（土）サン・エールさがみはら、出席者11名】
  - ・各種事業の経過報告及び今後の取組みについて
- 第5回【9月2日（土）相模湖交流センター、出席者11名】
  - ・各種事業の経過報告及び今後の取組みについて
- 第6回【10月7日（土）サン・エールさがみはら、出席者18名】
  - ・学習会 「相模湖・津久井湖のアオコについて」北里大学 岩下 正人氏
  - ・学習会 「持続可能な拡大流域圏の地域住民、NPO、行政、研究者の実践的協働を実現する空間情報プラットフォームの構築」  
横浜国立大学教授 佐土原 聡氏
- 第7回【12月2日（土）相模湖交流センター、出席者12名】
  - ・2007年度事業計画について
- 第8回【1月6日（土）サン・エールさがみはら、出席者10名】
  - ・2007年度事業計画及び予算について
- 第9回【2月3日（土）サン・エールさがみはら、出席者14名】
  - ・2007年度予算及び事業計画について
- 第10回【3月3日（土）相模湖交流センター、出席者18名】
  - ・各種事業の経過報告及び今後の取組みについて

（オ）事業者部会 （ 議題については、主なものを記載 ）

- 第1回【4月27日（木）八王子市クリエイティブホール、出席者18名】
  - ・2006年度 桂川・相模川流域協議会総会について

（カ）行政部会 （ 議題については、主なものを記載 ）

- 第1回【4月27日（木）八王子市クリエイティブホール、出席者22名】
  - ・2006年度 桂川・相模川流域協議会総会について

## (2) 専門部会の開催

### ア アジェンダ専門部会

(報告者：小西 一郎)

- ・第1回(2006.5.17): かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画について
- ・第2回(2006.8.28): かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画について(神奈川県企画部土地水資源対策課)
- ・第3回(2007.2.9): 平成13年度 相模湖・津久井湖窒素排出源調査結果(神奈川県温泉地学研究所)

主任研究員 宮下雄次氏)

アジェンダ専門部会は、流域協議会設立(1998年1月)の当初から幹事会の下に設置され、前半の5年間は「アジェンダ21 桂川・相模川」の具体的な行動指針、行動計画づくりに専念しました。

同時に基本理念もまとめられ、成果は2002年3月発行の「改訂版」にまとめられています。

その後は、2002年の「ホタル学の初歩から最新の研究成果まで」に始まって、「世界の地域通貨、日本の地域通貨、そして未来の地域通貨」等のいろいろな学習会を重ねて、今日に至っています。

そんな中で「かながわ水源環境保全・再生施策」についての説明会、検討会は、2005年度末から2006年度にかけ3回も開催されています。結果はその県民会議の委員に、関係団体から倉橋満知子代表幹事になることになり、又、一般公募の委員にも、牧島信一幹事と天内康夫さんが横浜・川崎地域から入ることになりました。

以下に、毎回のアジェンダ専門部会の概要を簡単に書いておきます。

第1回目は2005年度の終わり2月16

日の土地水資源対策課の説明会を受け、流域協議会内部の意思統一、意見調整の場としてもたれました。この場では、かなり本音の意見がかわされています。

・この事業は順応型管理ということで実行・評価・見直し等は県民会議が行っていくとなっているが、この県民会議と流域協議会というのが非常によく似ていて、二つの組織が将来的に並存していくのか、あるいは合体をしていくのか…。

・県民会議の中の推進委員会の委員に、流域協議会から一人乃至数人が参加するのか、その程度の扱いなのか。

・県民会議に参加する、これは重要な視点だが、会議に出るだけでいいのか。実行を担保するには事務局体制と実行部隊が必要になるのでは…。

第2回の専門部会では、再び土地水資源対策課の出席のもと、県民会議についての進捗状況の説明を受けつつ、意見の統一をはかりました。

第3回目の専門部会は、内容を全く変えて、「平成13年度 相模湖・津久井湖窒素排出源調査結果の紹介」とのことで、神奈川県温泉地学研究所主任研究員の宮下雄次さんにお話し頂きました。

ただ、相模湖、津久井湖の場合、アオコの原因となる植物プランクトンにとって栄養条件はリン制限であるので、窒素排出源調査の意義がいまひとつ分かりにくかった。リン排出源調査のほうが汚濁源対策にとって緊要であろうと。

また、汚濁源は自然系が7割との話は納得する訳にはいきません。

## イ 森づくり専門部会

(報告者：倉橋 満知子)

実践的森づくり流域材活用推進プロジェクトも2年目を迎え、「木を切り出すところから見せる流域材の家づくり」をスタートすることができました。

上野原市に在住する協議会会員の中村さんが、モデルハウスとして、公開建築に協力して下さることになりました。森の中の木を見ることから始まるという、設計士、大工さんとともに今までやったことのない家づくりに挑戦することになった訳です。

まず、施主と設計士さんとの綿密な打ち合わせを重ね、設計図が出来上がったところで、木を切り出す山の下見を行いました。

2006年5月2日(火)、雨が降るあいにくの天気の中、北都留森林組合の案内で、山梨県森林環境部林業振興課、相模原市経済部農林課などの職員も同行して確認をしました。選別した木には、印のテープが巻いてありました。どの視点で、選ぶのかと聞くと、「真直ぐで、太いもの」を選ぶそうです。

その後、木を切り出す日程を2006年9月23日(土)と決定しました。今回の伐採は「新月伐採」という方法を選択しました。

新月伐採とは、新月の前後一週間の間に伐採すると、カビが生えにくく、虫がつきにくい、腐敗しにくい、縮みや曲がりが少なく割れにくいという特性があると言われています。

また、新月に伐採した木は、無垢材としての空気の浄化、燃えにくい良質な古材として再利用が可能という、優れた材になります。

このようなことを踏まえて「木を切り出すところから見せる流域材の家づくり」の見学会を実施しました。

当日は31名の参加で、天気にも恵まれ、実施することができました。北都留森林組合の方々から説明を聞きながら、チェーンソーの音とともに一本一本倒れていくヒノキを、感動しながら見ることができました。



伐採した木を囲む見学者



施設概要について、甲斐東部材プレカット協同組合職員から説明を受けている様子

新月伐採を見学後、甲斐東部木材団地へと移動し、原木丸太の市場やプレカット工場を見学しました。太さの違う丸太をベルトコンベアーで選別していく様子や、設計図に合わせて、自動的に柱材がカットされていく様子が感心しながら、見学しました。初めて見る人たちが多く、森と家のつながりが見えた見学会になったのではないのでしょうか。

伐採した木は、年を越えた2月いっぱいまで、森の中に寝かされ、自然乾燥させ、製材にかけます。柱や板となって家の形になるのも間もなくです。今年度中に家の見学会ができませんでしたが、来年度に2回目の学習会を兼ねた見学会を行います。

## 【9月23日に開催した見学会の案内リーフレット】

桂川・相模川の水源を守る流域材の活用

桂川・相模川流域協議会

# 木を切り出すところから見る流域材の家づくり

9月23日(土) 見学会を開催



г ' W ▼ г ньН  
 è г ▼ г W М г Рг ŷ ъль  
 з' ъНъоъМ з ŷ ш М " ъ"юэ оэ  
 г ŷн"М W ъ з һийльз' ъН  
 цг' ' ъ<h г М -г п ьр' ъН  
 ц' 'Е ъ<ŷ W ▼ г Е ъ<цһь  
 ъН

<当日のスケジュール>

- 見学場所：(伐採場所) 上野原市西原～甲斐東部木材団地・・・(雨天決行)
- 集合場所： 上野原駅北口 10時集合
- 参加費： 無料(弁当、水筒持参下さい。)
- 募集人員： 25名

※ 流域材を使用した、実際の家づくり(プラン)のご紹介・裏面をご覧ください。

①

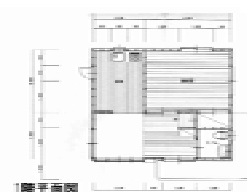
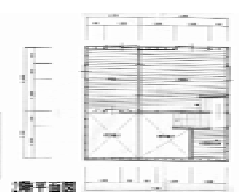


### <新月伐採は森の環境保全に役立つ>

гМ п ф "мо' ŷ <'мг 1 ŷ  
 ш>h ёч г шъоНН  
 ч г шWM:kn лутгМ пгрутэм ъут  
 эм ,† п"п нт >утъоН не<Нъъъ  
 г Е ъ<ом лутгМ н һъм"  
 ме<Н  
 г' "М 'т г' 'з ме<Н  
 цгъ"М.γън'эм һ г м" >ъ<Н  
 -||=N.γт<||= ч һггн шъ"

<流域材を使用して建てられるモデル住宅>



## 2 上下流交流事業 ～地引き網体験と海岸清掃～

(報告者：茅ヶ崎市環境部環境保全課)

今年度の上下流交流事業は、2006年8月22日(火)茅ヶ崎海岸において開催しました。海岸での体験を通じて桂川・相模川が注ぎ込む海の現状や森・川・海のつながりの大切さを体感してもらうことをテーマに、地引き網体験、海岸清掃及び交流会を行いました。



地引き網体験の様子

当日は、上流側から山梨県大月市の小学生21名、下流側から神奈川県高座郡寒川町の小学生25名をはじめ、総勢83名が参加しました。

地引き網体験では、皆で力を合わせて引き上げた網に、イワシ、アジ、カワハギ、スズキ等たくさんの魚が銀鱗を踊らせていました。新鮮な魚の天ぷらや刺身が振る舞われた昼食の後、財団法人かながわ海岸美化財団職員の柱本さんの指導で、海に感謝の気持ちを込めて全員で海岸清掃を行い、茅ヶ崎海岸を後にしました。

午後からは、財団法人かながわ海岸美化財団に場所を移動し、柱本さんから「海岸漂着ごみ等の状況について」講話をいただきました。海岸ごみの約7割は川から流れてくることを知り、川と海がつながっていることを再認識することができました。

最後の山梨、神奈川両県の小学生による交流会では「環境を守るために身近にやっていること」をテーマに、学校や家庭で取り組んでいる事例が多数発表されました。

### 参加した山梨県大月市の小学生の感想

【地引き網体験に参加して】(船木 勇助さん)

力いっぱい引いた地引き網の中に、巨大なエイがいた。漁師さんがうらがえしにして、腹を見せてくれた。かたいと思っていたけど、ぬるぬるしていた。意外とやわらかくて、びっくりした。イカの足には、吸ばんがあり、手にくっついた。

この生き物たちのためにも、ゴミをへらして、きれいな川にしていきたい。

【ゴミ、環境への意識】(小野 愛美さん)

海岸でゴミを拾ってみると、自分たちが使う日用品から、お弁当箱のゴミまでたくさんありました。身近にこんなたくさんのゴミがあるとは思いませんでした。

一人一人に対する意識が強ければ強いほどゴミは減るし環境もきれいになります。70%の川のゴミ、全てのゴミを減らし、海にいる生き物や自分達のためにも、これからはもっと環境を大切に、積極的に活動に参加したいです。とても良い経験になりました。

【海岸のゴミひろい】(太田 美穂さん)

私が拾ったゴミの中で多かったのは、木のくずとビニールとタバコの吸いがらでした。私は、海っていいなあと思いました。でも、ゴミがたくさんあると、魚はかわいそうだなと思いました。海岸清掃後に海を見たらきれいになりました。ずっときれいな海でいてほしいです。



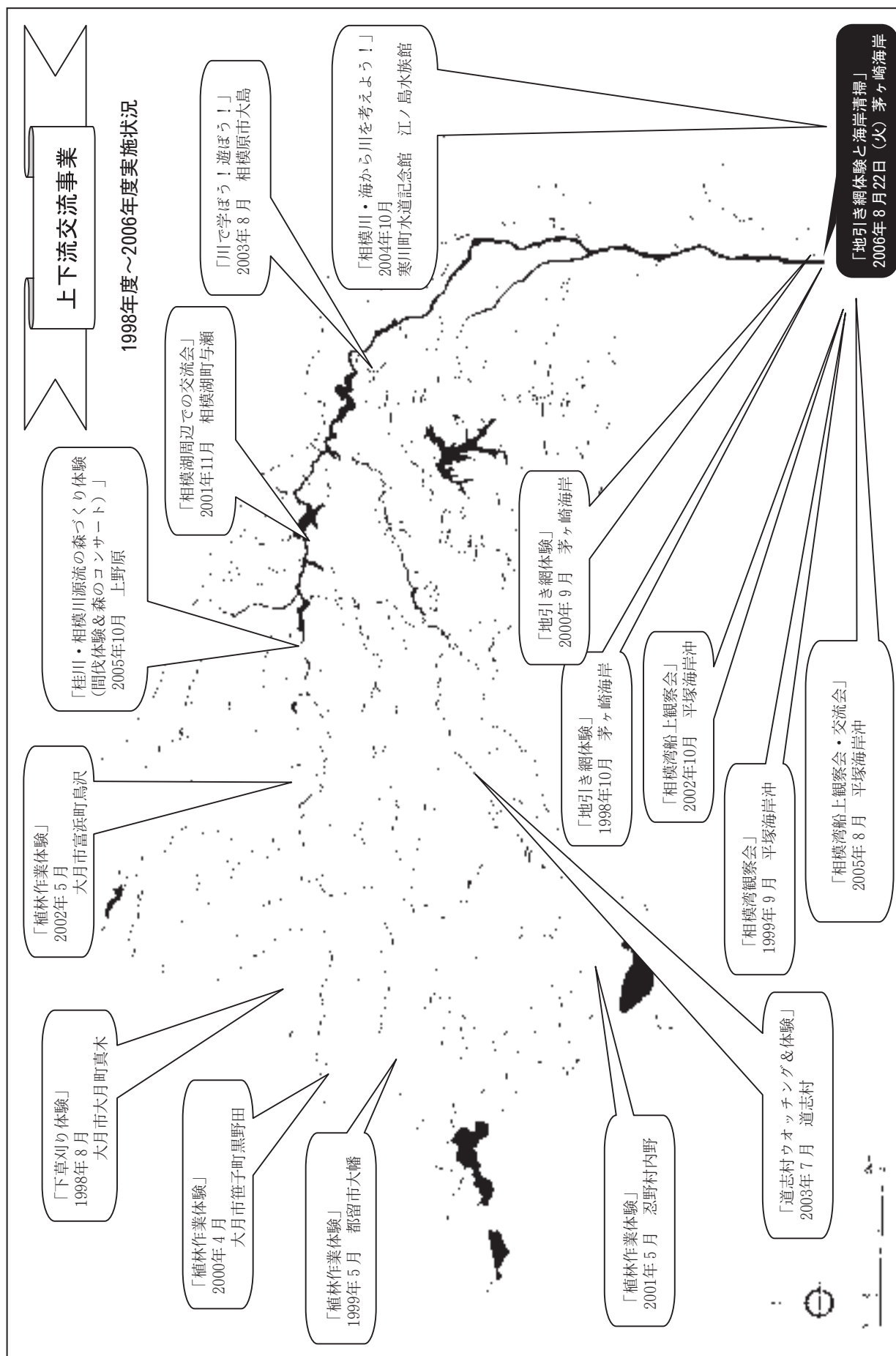
海岸清掃の様子



茅ヶ崎市長が激励に駆けつけ、一緒に海岸清掃をされました。



海岸清掃後・・・きれいになりました。



### 3 桂川・相模川 流域シンポジウム

#### 水源地からの警告 ～ 誰が私たちの飲み水を守るのか ～

( 報告者 : 実行委員会 宮野 貴、中村 道子、山梨県富士・東部林務環境事務所環境課 )

#### (1) はじめに

本年度の流域シンポジウムは、流域のほぼ中央に位置する山梨県上野原市にて、11月12日(日)に開催されました。

桂川・東部地域協議会の会員を中心とした実行委員会を組織し、手作りのシンポジウムとして精力的に準備し、当日は約200名の来場者による活発な意見交換が行われました。

本稿では、その概要を報告します。



(桂川の様子：上野原市桂川橋付近)

#### ア 開催概要

- 開催日：11月12日(日) 12:00 ~ 16:15
- 会 場：上野原市文化ホール  
(山梨県上野原市)
- テーマ：水源地からの警告  
～ 誰が私たちの飲み水を守るのか～
- 参加者：約200名
- パネル展示(14団体)
- プログラム
  - 1 主催者開会あいさつ  
河西 悦子(代表幹事)
  - 2 来賓あいさつ  
臼井 和文(上野原市市民部長)
  - 3 水源環境について  
— もっと知ろう水源環境—  
「映像による上流域の紹介」  
宮野 貴(実行委員)  
「かながわ水源環境保全・再生施策」について  
荘田 俊夫  
(神奈川県企画部土地水資源対策課)

#### 4 流域交流会

一本音で語り合おう -

山梨県流域市町村からの報告と再発見 ～ わがまちの水環境  
その良さと問題点～

進 行：小川 和子(事務局)

発表者：各市町村担当者

みんなで意見交換

コーディネータ：宮野 貴

(実行委員)

#### イ 結果概要

##### (ア) テーマ等の背景

2007年4月から、「かながわ水源環境保全・再生施策」がスタートし、神奈川県では個人県民税に上乗せする形で、この財源が確保されることとなっています。今、神奈川県民の目は上流域に向けられつつあります。

一方、流域協議会では設立以来、「アジェンダ21 桂川・相模川」を基に多くの事業を進めて参りましたが、果たして流域の環境は良くなったのでしょうか？ 水源地の状況はどうなったのでしょうか？ 問題は解決したのでしょうか？

こう、自問自答したとき、まだまだ流域には多くの問題が残り、そのことを私達はあまり知らないのではないのでしょうか。かっこつけずに、原点に帰ってみる必要性を感じました。

一般に、シンポジウムでは偉い先生の講話があり、パネラーの議論を聞くことが多いのですが、我々が求めているものはそうではなく、実態を知り、解決策を自ら議論し、行動することです。今回のシンポジウムは、来場者全員参加の会にしたいと企画しました。

##### (イ) 映像による上流域の紹介

まず、広い流域の情報を共有することが必要であることから、実行委員により、河口から源流である山中湖まで

を空から眺めた映像で紹介しました。自分が鳥になった気分が味わえる無料のインターネットソフト・情報である「Google Earth（グーグル・アース）」を利用しました。下流域をあまり見たことが無い山梨県民が多かったこともあり、新鮮な驚きが会場を包みました。その後、空と大地そして台所をつなぐ水の循環、森林の荒廃状況と流域材使用の試み、河川・湖沼の水質やゴミの状況、下水道の整備状況等について、特に山梨県側の状況を写真やグラフで説明しました。

#### （ウ）山梨県内流域市町村からの報告と再発見

山梨県側の流域全市町村（9市町村）の担当職員が、自らの言葉で自分のまちの素晴らしさと問題点、そして環境問題への取組内容を紹介しました。

自然環境の素晴らしさがある一方、森林の荒廃、ゴミの不法投棄の状況等が問題点として挙げられ、水質浄化、一斉清掃の状況、独自の条例や流域材の活用方法等も紹介されました（詳しくは、16～18頁をご覧ください）。

各市町村5分という短い時間でしたが、私達の知らない情報がいっぱいありました。かねてより、流域協議会における市町村行政会員の活動が見えにくいと指摘されていたところでしたが、今回の報告を受けて各市町村が身近に感じられ、行政との連携方策が見えてきたように思えました。

#### （エ）みんなで意見交換

これまでの報告を聞き、参加者全員による意見交換を行いました。

意見が集中した事項を列記しますと、次のとおりです（詳しくは、19頁をご覧ください）。

- ・水質浄化は下水道事業だけでは完成しない。
- ・合併処理浄化槽は維持管理が大切であり、市町村設置型も含めて議論すべき。
- ・また、方式については、山中湖村で

推進している土壌浄化法を勉強する必要がある。

- ・ゴミの問題は拾うだけでなく、捨てさせない教育や環境づくりも重要。
- ・森林管理のためにも流域材をもっと使うべき。
- ・各自が流域の情報をもっと知る努力をし、また、知らせる努力（情報発信）もすべき。

予定時間を超過する程の熱の入った意見交換ができました。会場からも最後に「もっとこういう話し合いの機会を増やして欲しい」と、大きな掛け声もあり、地に足が着いた議論の大切さ、そして行動の大切さを改めて知る機会となりました。

#### ウ まとめ

テーマにある「誰が私たちの飲み水を守るのか？」の答えは、水源地の人々ではなく、水を飲んでいる“私達みんな”だと思います（もちろん山梨県民も水を飲んでいるのですから、この中に含まれます）。

今回改めて明らかとなった問題点をみんなで解決しようではありませんか。流域協議会は、単なる熱い想いを持つ市民の集まりではありません。専門的な知識・技術を持った個人や企業・団体、また、流域全ての行政が集まっているのです。大都市東京・横浜の悪い影響を受けやすい地域でもありますが、会員が一致団結し、グローバルな視点で、確かな知識と技術を持って、地域に根ざした議論と行動で、問題を解決しましょう！

幸い、流域シンポジウム開催後に、流域ツアー＆ウォッチングで、山中湖村で推進している合併処理浄化槽の土壌浄化法を学ぶ活動が行われました。

また、アジェンダ専門部会でも水質についての議論が開始されました。この流れをみんなで確かなものにしていきましょう。他ならぬ、私達の流域の問題解決のために。

【次頁以降に、説明・議論の詳細を紹介します】

(2) 山梨県内流域市町村からの報告と再発見

今回の桂川・相模川流域シンポジウムでは、山梨県内流域の9市町村から、水環境保全に関する取組みを発表していただきました。

発表にあたって、短い時間で、市町村が抱えている環境問題や、その取組みについて、わかりやすく説明することは難しいことですが、各市町村の協力により、9市町村全部から報告をいただきました。

以下、概要を報告します。

■ 山中湖村

湖の水質浄化・汚染対策では、公共下水道整備事業を積極的に推進している。昭和54年2月に着手し、現在、計画区域の整備普及率は69.5%、接続率は79.1%である。湖面に接する一周の殆どが接続可能となり、CODもここ数十年間横ばい傾向からやや下向き傾向になってきている。

浄化槽・雑排水の終末処理は直接、河川・湖・側溝への放流を村の要綱で全面禁止し、平成12年4月から全て敷地内蒸発発散方式（通称：土壌トレンチ方式）を採用している。

環境美化では、昭和44年6月から地元住民、事業所が参加し、湖畔一斉清掃を毎月2回実施。1回の参加者は約1,200名、その日のうちに全量を村で回収する。一斉清掃で手が届かない場所の散乱ごみは、毎日車2台人員4名で巡回回収している。また、各種団体のボランティア活動により定期的に散乱ごみの回収も行っており、参加人数は延べ万人を超えている。

■ 忍野村

住民やボランティア団体等により、桂川を維持管理するため、年に数回清掃活動を行っている。

忍野村の<sup>しほぐさ</sup>忍草漁業協同組合では、魚釣りの解禁中は、監視員が毎日ゴミ袋を持ち、ゴミを回収している。

また、魚釣りの解禁前の3月と禁漁期間に入ってから10～11月に清掃活動を行っており、年2回で合計約240人、2tトラックで約3台分のゴミを回収している。

その他、漁協が音頭をとり、釣人等のボランティアを集め、8月と10月の年2回清掃活動を行っており、合計80人程が参加している。

忍野村観光協会では「水源の里忍野八海クリーンキャンペーン」を年1回実施し、一般から募集したボランティアを含め約100名が清掃活動を行い、2tトラック約2台分のゴミを回収している。

清掃以外では、毎年、河川と忍野八海の水質の変化、有害物質の有無等について調査している。

家屋が点在し、一軒、二軒のために数百メートル下水道を引くのは容易なことではない。また、既設の単独処理浄化槽を合併処理浄化槽に入れ替えるには本人・行政に大きな負担がかかる。



## ■ 富士吉田市

- ・ 平成 17 年度は住民による河川清掃活動（市は、ごみ袋・軍手の支給、ごみ収集車の手配を行う）を 16 回実施し、6,770kg を撤去した。また、河川清掃業務委託は 6 回実施し、3,245kg を撤去した。入山川を守る会は昭和 49 年に発足し、毎月第二日曜日に清掃活動を実施している。
- ・ 富士吉田市「美しい富士の里」再生計画の目標は 「水質改善の推進」→市民や環境団体と協働して実施する河川清掃、「地下水の保全」→山林の維持管理・富士山一斉清掃、「水辺の親水化」→ホタルの再生や環境学習の役割を担う明見湖の整備、「污水处理施設整備の促進」→公共下水道の整備・個人設置型の浄化槽を普及させ、市民、事業者と連携・協働して取組み「美しい富士の里」を実現していく。
- ・ 今後の水環境保全として、支援への体制作り 協力団体へのバックアップ 市民、事業者と連携・協働した取組み 総合的かつ計画的な施策の策定を実施していく。

## ■ 富士河口湖町

「法定外目的税」の全国第 1 号として、平成 13 年 7 月導入した一人一日 200 円の遊漁税徴収がある。年間約 30 万人の釣り客が訪れ、環境への悪影響も深刻な中、遊漁税の導入により、一般財源に加え、税の目的に沿った湖底及び湖畔の美化清掃やトイレの設置に充実が図られている。

次に、下水道及び合併処理浄化槽の推進について、下水道の現在の普及率は約 70%で、今後、毎年 3 %程の整備が見込まれている。また、下水道の計画区域以外では、合併処理浄化槽の設置を義務づけ、補助金を交付している。

毎年 5 月の大型連休前の日曜日に、河口湖を中心に町全域を、町民・企業・小中学生など約 8 千人でクリーンアップキャンペーンを実施し、町内ゴミゼロ運動として、ほぼ同規模で 5 月と 10 月の最終日曜日に清掃活動も実施している。

## ■ 西桂町

毎年、4 月の第一日曜日に川浚い、8 月には富士山クリーン作戦での清掃の際、桂川、柄杓流川の河川清掃活動を行っている。水質検査結果では、環境基準をクリアしており、全体的に良好な数値である。

富士山の伏流水のなかでも、一番おいしい層から湧き出ているのが西桂の水、といわれている。

## ■ 都留市

### 鹿留川下流 おなん淵清掃

地域協働のまちづくり推進会による河川の漂流物の撤去作業及び上下流のゴミ拾い。小船を用意し、川に浮いているプラ容器・発泡スチロールなどを網で集めてゴミ袋に入れ、手渡しで上の道まで運び、地域の共同美化清掃を行っている。

### 美化推進指導員委嘱式 600 名の環境美化協力員研修

都留市内の 9 地区に 40 名の美化推進指導員を委嘱し、不法投棄監視パトロールを実施し、各自治会では、自治会の常会・組を単位として委嘱した 600 名の環境美化協力員によるゴミ分別指導や不法投棄の監視、美化活動を行っている。近年、市内 7 地区に創立された地域協働のまちづくり推進会、各事業所、諸団体に結成される実行委員会による清掃など、各諸団体の様々な活動が繰り広げられている。

### 地域清掃活動

河川の清掃活動で、古くから行われているのが市内一斉の定式。4 月第一土・日曜日の農作業が始まる前に、各地域で灌漑用水路を中心に広まった堆積物の除去作業を行う。

#### 田原の滝 こいのぼりまつり

地域と諸団体が協働して行う清掃活動である。終了後、景観を利用し、寄贈された鯉のぼりを吊るした「こいのぼりまつり」が実行される。

#### 中学校と地域協議会合同清掃活動

地元の東桂中学校と桂川・東部地域協議会が協働して行う柄杓流川の清掃活動。各地域では川を大切にする意識、触れ合う意識が段々広がってきているが、以前の水辺を取り戻すには、まだまだ時間が必要である。

### ■ 大月市

#### 清流と水辺・ふれあい推進事業

毎年、環境教育の一環として、市内小学校児童を対象とした「清流をまもる集い」を実施している。子供達に身近な河川の水質検査、水生生物調査や河川清掃を通して河川の現状を把握してもらい、河川美化学習に取り組んでいる。

#### エコ市民交流事業

毎年、市民に身近な環境を考えて頂くことを目的とし、環境イベントとして「おおつき市民エコフェスタ」を開催している。

#### 水源地の整備・流域材の活用

水源地を中心とした森林整備計画を検討するとともに、流域材の活用を図り地域の活性化を推進する。【大月市立猿橋小学校 流域材の活用状況(平成18年11月現在)】

### ■ 上野原市

- ・ 市内小中学校への環境教育の普及に力を入れている。そのため、最近、小中学生が環境問題で市役所へ訪ねてくるようになった。
- ・ 首都圏に近いため不法投棄されたゴミの撤去を行っているが、不法投棄は後を絶たない。その状況はNHKの番組の電話取材があった。(平成18年11月現在)
- ・ 環境基本計画の策定、委員の一般公募、また、水源税にも関心があり、水の安全性に注意を払っている。

### ■ 道志村

- ・ 年1回、村内一斉の清掃活動を実施し、自治会、農協職員、小中学生、ボランティア団体などが参加している。
- ・ 全世帯を対象に、市町村設置型小型合併処理浄化槽の普及を行っている。平成18年度からは、横浜市の協力で、排水BODが10ppmの高度処理型合併処理浄化槽の設置を進めている。
- ・ 年1回定期河川底生生物の生息調査を行っている。ランク のきれいな水に棲む生物が8種類確認され、道志川が清流であることが立証された。



(3) 流域交流会「みんなで意見交換」の内容

今回のシンポジウムのまとめとして行った「みんなで意見交換」では、実行委員の宮野氏がコーディネータを務め、たくさんの意見が来場者から出されました。

【意見 1】山中湖村が実施している合併処理浄化槽の排水を川などに流さない土壌トレンチ方式に興味があるので、もっと詳しく知りたい。また、見学にも行きたい。

【意見 2】下水処理の方法として流域下水道、農村集落排水、浄化槽と土壌浄化法を較べるべき。

水がいちばん綺麗になるのは土壌浄化法で、次に合併処理浄化槽、農村集落排水、最後が流域下水道の順ではないか。コストは土壌浄化法が一番安い。我が家では 25 年前から実証している。

山梨県の各市町村の努力で、この辺のことも考えて事業を進めてほしい。

【意見 3】千葉県四街道市にもゴミのポイ捨て禁止条例が 10 年前にできているが、産業廃棄物の不法投棄などもあり、全く改善されていない。浄化槽は、設置した後の維持管理をしっかりとしなければ水質が保てない。

不法投棄に対しては、ゴミのポイ捨て条例でも、罰則を厳しくするべきである。(千葉県在住者)

【意見 4】流域協議会の事業である「流域ツアー＆ウォッチング」では、交流を図りながら、上流域を訪問している。

クリーンキャンペーンや浄化槽の問題も含めて、地元で活動している人やボランティアの人などと一緒に交流をしながら、上流域での取り組みを下流域の住民にも伝えていきたい。

【意見 5】流域下水道も合併処理浄化槽も、行政が一括して管理して欲しい。

既設の浄化槽は、行政が買い上げたらどうか。管理は行政になるから、徹底される。

【意見 6】平成 18 年 2 月の浄化槽法の一部改正により、浄化槽の維持管理と清掃の法定規則を守らない人には罰金を徴収する制度ができた。これを、どうやって遵守させるかが、行政の課題である。

山梨県内の先駆者として道志村の事業があり、横浜の水源林として、水質を守るため、村では BOD を 10ppm (通常は 20ppm) にする、市町村設置型の合併処理浄化槽を導入している。

国の施策は、下水道を推奨してきたが、ここへきて、下水道では経費がかかりすぎるから、市町村設置型及び個人設置型の浄化槽を推奨している。

【意見 7】ゴミを捨てる人は捨てる。拾う人は、ひたすら拾うというのが現状です。

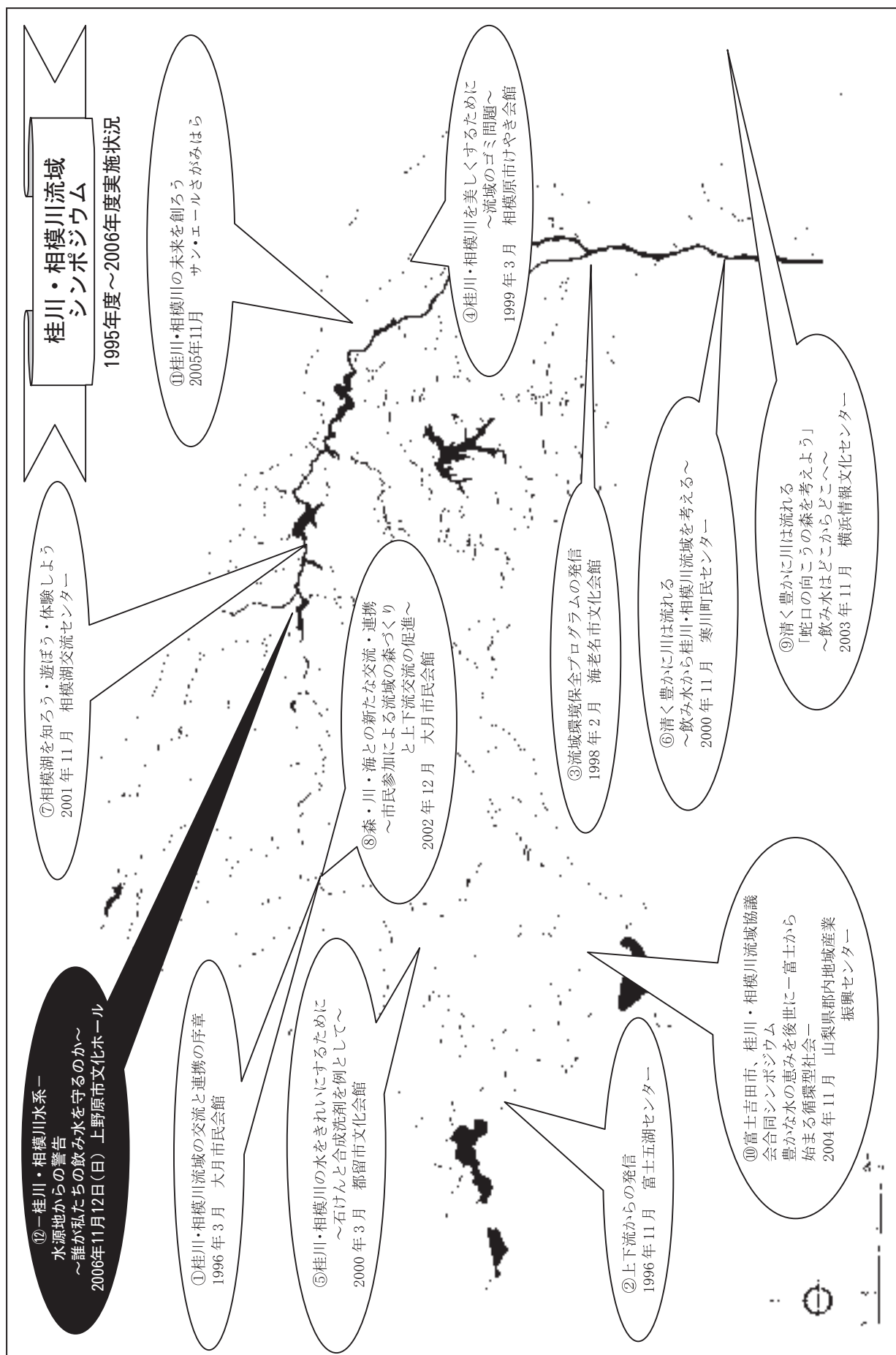
その原点をポイ捨て禁止条例にも加え、どう教育し、歯止めをかけていくかが、これからの大きな課題だと思う。

【意見 8】実際に林業をしていると手入れができなくて弱っている。ハイキングなどに植林の下刈り、間伐を組み合わせ、田舎に遊びに行つて少し作業を手伝いたいと考えている大都市の人との交流団体を作りたい。山をきれいにし、都市と農村が仲良くできるようにしたらどうか。(上野原市民)

【まとめ (コーディネータ)】非常に美しい景観の桂川の上流域ですが、水質やゴミ、浄化槽、山の問題等たくさんの課題があり、行政だけでは当然解決できないことから、この協議会ができています。

流域の問題が非常に広い範囲まで及ぼし、神奈川県の水を飲んでいる人も、お金を出し合つて頑張ろうという、山梨県側も匹敵するような努力を、個人なり、企業なり、行政でやっていければと思っています。





## 4 環境調査事業

(報告者：文 岡田 一慶 / 編集 早川 幸男)

### (1) 相模川の支流合流点横断工作物調査

2007年1月13日に行った第1回相模川支流合流点横断工作物調査は晴天に恵まれて、気持ちのいい小春日和で絶好の調査日となった。参加者は市民部会から13名(うち、さがみはら地域協議会から8名)、神奈川県水産技術センター内水面試験場の勝呂尚之主任研究員、神奈川県環境農政部大気水質課職員2名で、総勢16名。

調査地点は小倉橋下流、相模川右岸に合流する串川、<sup>したくらがわ</sup>下倉川、藤木川、下河原川の各合流点上流付近の4カ所である。

今回の調査では、4つの支流全てに、合流点の上流付近に落差工が設置されていることがわかった。支流の上流には相模川に沿って小倉山、三栗山等の丘陵地があり、合流点付近は勾配が大きいことから、道路橋の橋脚の洗掘防止のため必ず二段ほどの落差工が施されている。

調査した落差工は、魚道等の配慮がなされていないことや、その上下流部はコンクリートの三面張りになっている箇所が多くあったことは非常に印象深いことであった。

中間報告として、藤木川の調査データを例として掲載する。藤木川の合流点部分のスケッチ、写真、水質調査や生物調査の様子、横断工作物の大きさなども見て頂きたいと思う。生物は手網で採集した。水質については、内水面試験場から水質検査機器を借りて測定した。落差工の高さなどの測定では、参加者の友人から測量機器を借り出した。

生物調査では、魚類や底生動物の種類数が上流は下流の半分であった。神奈川県レッドデータ種の準絶滅危惧種でも上流と下流では違いが見られた。

他の3カ所も、藤木川と同様に落差工が設置されていたので、簡単に報告する。

#### 【串川】

本川合流点から上流90m付近と150m付近に落差工の二段の横断工作物があるが、魚道等の設置はされていない。落差工の上下流部では生物種に違いが見られる。

#### 【下倉川】

合流地点直上付近に、1m以上の高さのある落差工が設置されている。コンクリート三面張り、魚道は設置されていない。去年は数匹のホタルを観察した。

#### 【下河原川】

合流地点から落差工までは水が涸れている。流水が完全に伏流している。一方、人家を抜けた上流部は今でも水質が良く、以前はカジカも生息する溪谷であったそうである。

4カ所とも、現在は魚にとって良い環境とはいえない状況だが、コンクリートの落差工の表面が劣化して穴があき、それを魚道としてヨシノボリが落差工を乗り越えることがあると勝呂主任研究員から説明を受けた。遡上できるとは考えられない場所だったので非常に驚いた。

本来支流は、多様な生態系を支える豊かな水環境をもっている。相模川の支流がその機能を回復することにこの調査が少しでも寄与できることを願っている。今後は相模川本川の支流だけでなく、中津川水系の支流や、道志川の支流など、調査が継続できればと思っている。

支流調査の実現のためには、神奈川県水産技術センター内水面試験場の主任研究員である勝呂氏に協力して頂いた。厚くお礼を申し上げる。



|                 |                      |          |                |
|-----------------|----------------------|----------|----------------|
| 相模川支流河川横断工作物調査票 |                      | 河川名：調査地点 | 串川：相模川への流入部    |
| 調査日時            | 07.01.13 10:30-11:35 | 天気：快晴    |                |
| 団体名             | 桂川・相模川流域協議会          | 記録者      | 天内 早川 牧島 小林 末松 |

|                 |              |         |        |
|-----------------|--------------|---------|--------|
| 流れ幅 (m)         | 図 地点 A       |         |        |
| 水深 (cm)         | 左岸           | 中央      | 右岸     |
| 濁度TURB (濁り) 46  |              |         |        |
| 流れの速さ           | 溶存塩分SAL 0.01 |         |        |
| 気温11.2℃         | 水温8.6℃       | ph 7.72 | パックテスト |
| 電気伝導度COND 0.274 | 溶存酸素DO 8.96  |         |        |

|                 |              |         |        |
|-----------------|--------------|---------|--------|
| 流れ幅 (m)         | 図 地点 B       |         |        |
| 水深 (cm)         | 左岸           | 中央      | 右岸     |
| 濁度TURB (濁り) 52  |              |         |        |
| 流れの速さ           | 溶存塩分SAL 0.01 |         |        |
| 気温11.2℃         | 水温8.1℃       | ph 7.81 | パックテスト |
| 電気伝導度COND 0.328 | 溶存酸素DO 9.57  |         |        |

写真 C



写真 B



写真 A

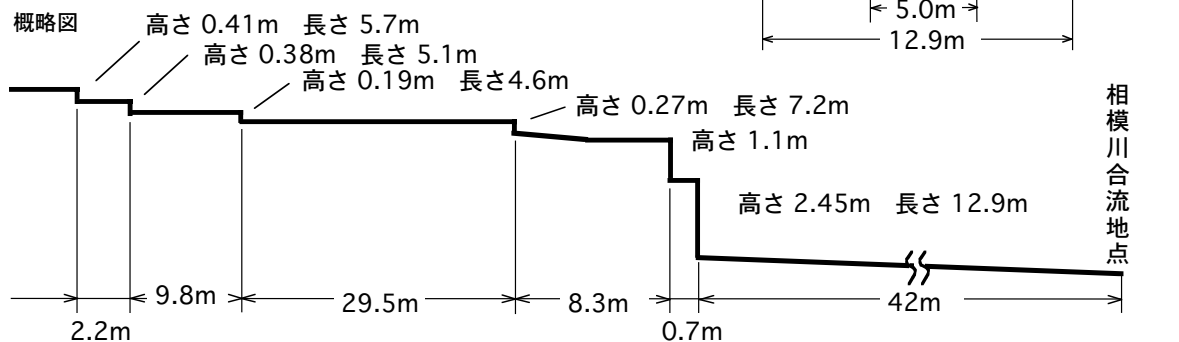


横断構造物名 床止工（図参照）

|         |  |
|---------|--|
| 長さ (m)  |  |
| 高さ (cm) |  |
| 魚道の有無   |  |
| 魚道の形式等  |  |

水生生物等（上流／下流）

| 生物名前        | 上流 | 下流 |
|-------------|----|----|
| ヨシノボリ       | 2  | 2  |
| オオヨシノボリ（準）  | 0  | 3  |
| シマヨシノボリ     | 0  | 2  |
| チチブ         | 7  | 7  |
| アブラハヤ（準）    | 20 | 2  |
| シマドジョウ（準）   | 0  | 1  |
| フタスジモンカゲロウ  | 17 | 7  |
| エルモンヒラタカゲロウ | 0  | 2  |
| オナシカワゲラ     | 0  | 4  |
| ヒゲナガカワトビケラ  | 0  | 12 |
| ナガレトビケラ     | 0  | 2  |
| ニンギョウトビケラ   | 0  | 5  |
| ツツトビケラ      | 2  | 0  |
| コオニヤンマ      | 0  | 3  |
| コシボソヤンマ     | 2  | 6  |
| ミルンヤンマ（要）   | 1  | 0  |
| ハグロトンボ（要）   | 4  | 0  |
| ガガンボ        | 3  | 0  |
| サワガニ        | 1  | 0  |
| 種類数         | 10 | 20 |
| 県レッドデータ種    | 3  | 5  |
| 準絶滅危惧種      | 1  | 3  |
| 要注意種        | 2  | 2  |



## 河川横断構造物 調査の様子



串川の床止工



生物調査、測量、水質検査を分担して行なう



下倉川（したくらがわ）の床止工



採取した生物を同定・カウント



下倉川の上段の床止工はコンクリートの三面張り



水が流れていない下河原川

## (2) 身近な水環境の全国一斉調査

( 報告者：宮野 貴 )

### ア はじめに

本調査は環境調査事業のひとつとして、昨年度から取り組んでいるもので、全国一斉に行われた「第3回身近な水環境の全国一斉調査」に参加する形で実施したものです。今年度は全国約5,000地点で調査が行われ、流域協議会では約80人が参加し、桂川・相模川流域を中心に179地点で調査を実施しました。なお、この調査の特徴は、調査者自らが調査地点を決めることにあり、調査の前から既に行動は始まっていたのです。

表－1 調査地点数一覧

### イ 調査の概要

調査は、全国統一の調査項目であるCOD（化学的酸素要求量）を3回測定し、また、ゴミの有無、濁り等、水辺の状況について判る範囲で観察しました。

|          | 山梨県内 | 神奈川県内 | 計   |
|----------|------|-------|-----|
| 桂川・相模川流域 | 55   | 83    | 138 |
| 他流域      | 3    | 38    | 41  |
| 計        | 58   | 121   | 179 |

COD測定は、その場で測定結果がわかる「パックテスト」と呼ばれる簡易測定法を用い、試薬の入ったチューブに採取した水を入れ、色の変化を読み取ったものです。

表－2 調査票  
(全国統一様式)

調査は、全国一斉調査日である6月4日(世界環境デーに近い日曜日)に実施することを原則としましたが、調査者の都合で別の日程でも良いこととしました。

### ウ 調査結果の概要

各調査地点のCODを3段階に区分したものを図－1に、また、流域内外の平均値を表－3に示します。

図－1を見ますと、下流域で水質が悪いだけでなく、上流域の支川にも悪いところがあることがわかります。あなたの近くの川の水質はいかがですか？

### エ 調査結果のまとめ方の例

ここでは、調査するだけではなく、ちょっと工夫している例を紹介します。

#### (ア) 水を見比べる (写真－2)

この調査は、その場で測定しても、また、家に水を持ち帰ってから一度に測定しても構わないのですが、水をペットボトルに入れて並べて見比べると興味深いことが判ります。



写真－1 調査風景  
(浅見吉之氏提供)

水の色、混じっているものの量、水温等、場所によって、かなり異なっていることが実感できます。

(イ) 地域の仲間と情報を共有する(写真－３)

個人で調査できる箇所数は限られます。そこで大切なのが、他の人との連携です。流域全体ですと、広すぎて状況がつかみにくいのですが、支川単位や地域協議会単位で調査箇所を分担し、調査後に結果を持ち寄ってみてはいかがでしょうか？(相模川湘南地域協議会では、調査結果を持ち寄り、勉強会を開催しました。みんなで状況や原因について話し合い、地域の実情を理解していました。)

オ おわりに

今回で２回目の調査ですが、前回と比較するのはちょっと早い気がします。重要なことは調査の継続です。また、年間の変化や一日の間での変化を調査することも必要だと思います。そして、何よりも一人でも多くの方がこの調査に参加され、水質保全・改善へ向けた具体的な一歩になることを願っています。

最後になりましたが、調査に参加された皆様、お疲れ様でした。また、2007年もよろしく願い致します。参加できなかった皆さんは、次回是非参加して下さい。

表－３ 流域内外の平均値  
(COD 中央値)

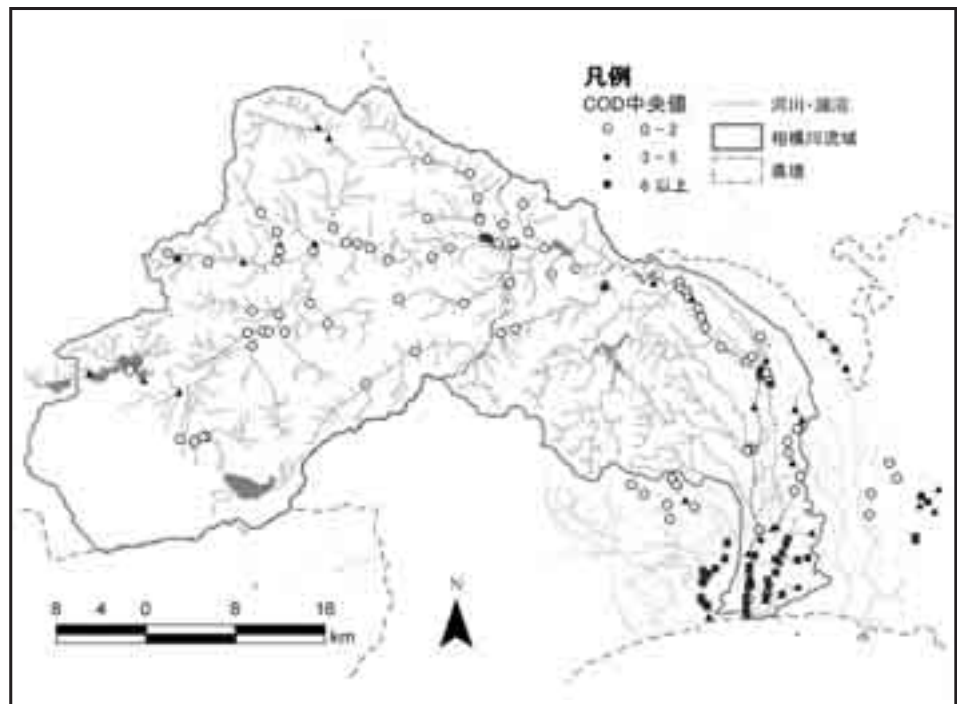
|          | 山梨県内 | 神奈川県内 | 計   |
|----------|------|-------|-----|
| 桂川・相模川流域 | 1.9  | 3.8   | 3.0 |
| 他流域      | 4.0  | 4.4   | 4.4 |
| 計        | 2.0  | 4.0   | 3.3 |



写真－２ ペットボトルに入れて水を見比べている例(宮野)



写真－３ 情報を持ち寄った例(相模川湘南地域協議会)



図－１ 水質調査結果総括図 (COD 中央値)

### (3) シジミ類共同調査、「川の日」ワークショップで準グランプリ受賞！

(報告者：宮野 貴)

7月22日、23日の両日、東京の明治神宮参集殿などで「『川の日』ワークショップ」(以下“WS”と略す)が開催されました。流域協議会では、向上高等学校生物部(顧問：園原哲司教諭)と合同で「シジミ類共同調査」について発表し、幸いにも準グランプリを受賞致しました。本稿では、その模様を紹介致します。なお、シジミ調査の内容につきましては、『2005年度活動報告』を参照願います。

このWSは、2005年11月に参加した関東大会の上位に位置づけられる全国大会で、今回で9回を数えます。全国の水辺で様々な活動をしている小学生から高齢者まで、元気な“川ガキ”が大勢集まり、自分達の活動を趣向を凝らして発表します。私達は、活動を演劇風にアレンジし、アピールポイントを次の5点に絞って発表しました。

シジミという目立たない生物に焦点を当てて外来種問題を追及。

神奈川県内での初確認を始め、県内のタイワンシジミ分布を解明。

高校と研究機関、流域の活動団体とのコラボレーションにより全流域調査を実施。

これらの事実を、タイワンシジミ生息未確認の全国22県の内水面試験場等へ紹介。

ホタルの幼虫、カワニナの放流に伴ってタイワンシジミが放流されている事実を確認。



このWSでは、予選や二次審査、決勝ラウンドを行いますが、その選考方法がまたユニークで、複数の審査員が公開討論を行い、どれが良いかを選んで行きます。おかげで聞いている私達は、ずっとドキドキの連続でした。

しかし、「シジミ調査」は、新鮮でユニークかつ積極的な調査・情報発信方法が高い評価を受け、準グランプリを頂戴しました。これは、6年間もの、緻密で、しかも着眼点の豊かな向上高校生物部の皆さんの活動の成果です。おめでとうございます。私達は、改めて、向上高校生物部のすごさを全国の舞台で知ることとなったのです。



このWSの特徴は、自分達の活動を発表するだけでなく、他の活動から勇気とパワーをもらえることです。「へーそんなことやってんだ」「んー、頑張ってるな」「うわー、楽しそう」と、感動の嵐です。どうですか、皆さんも地域の活動を発表してみませんか。見ているだけよりずっと楽しいですよ！

●韓国「川の日」WSへ参加  
準グランプリ受賞により、兄弟大会である韓国「川の日」WSへ招待され、私達の代表として園原先生が発表して下さいました。



■「川の日」WSのHP

<http://www.mizukan.or.jp/kawanohi/kawanohi.htm>

## 5 洗剤対策事業

（報告者：中村 道子、田嶋 龍司）

業務用洗剤の使用実態と河川環境への影響調査を行うため、広く一般の方々が利用している公共施設における洗剤の使用状況の調査を行いました。

今回は、洗剤対策事業の担当幹事が在住している地域を手始めに、公共施設の維持管理を行っている事業者アンケートを送付し、協力を依頼しました。

相模原市の34事業者と上野原市の3事業者に調査書を送りましたが、返送されたのは相模原市では8社（23%）、上野原市は3社（100%）でした。

この返送されたアンケートでは、使用されている洗剤名とメーカー名、用途が記入されています。これをもとに各メーカーに対して、総数53品目の洗剤について、下記の法律や省令に基づく化学物質等安全データシート（MSDS）の提出を依頼しました。

回答には化学物質の名を明らかに示しているメーカーと、していないメーカーのバラつきがあり、19社中3社からはMSDSが届きませんでした。

今後、このMSDSの分析について専門家に依頼する予定です。

また、2007年1月から、麻布大学の研究室で、特定化した化学物質・洗剤のメダカによる毒性試験が始まりました。



### 【関係法令】

- \* 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律  
第14条（指定化学物質等の性状及び取扱いに関する情報の提供）
- \* 指定化学物質等の性状及び取扱いに関する情報の提供の方法等を定める省令  
第3条（提供しなければならない情報）

## 6 流域ツアー＆ウォッチング

（報告者：牧島 信一、林 久男）

今年度は1回の開催でしたが、市民と水源地域自治体との新しい協働方式の流域ツアー＆ウォッチングを開発できたものと確信しています。通算では今回で、第26回となります。

### 《開催の経過》

2006年11月に上野原で開催された流域シンポジウムで、水源地域である山梨県側の各市町村から水質浄化等の努力を聞くことができましたので、流域ツアー＆ウォッチングでも順次、源流域の自治体を訪問して、その取組状況を見学・説明・交流会を開催することとし、その第一弾として最上流部の山中湖村を訪問しました。事前に、山中湖村を訪れて、市民側の意向を伝えて、協議しての事業スタートでした。

### 《当日は積雪が心配・・・》

早朝7時、横浜駅西口に集合した頃は、目的地は雪との予報で心配しました。しかし、道路は通行できるとの現地からの連絡で、勇躍出発。途中、町田と大月からも何人かが乗車して、直接現地参加も含めて、最終的には参加者は24名。

バスの中で、相模川湘南地域協議会の井上駿さんから詳細な資料にもとづいて「生活排水の土壌処理」の解説をいただき、予備知識をたっぷり詰め込んで目的地へ向かいました。

最初の目的地の山中湖クリーンセンターは、山中湖よりもさらに高い標高1,080mの所にあるので、積雪が心配されました。異常ともいえる暖冬のせいか、雪は木陰に僅かに残るだけで、11時30分に無事到着しました。



### 《クリーンセンターでの説明～まずはゴミの収集について～》

さっそく、クリーンセンター所長の羽田和志氏からお話を伺いました。まず、山中湖村のごみ対策への取組状況について：

一般ごみについては、古くから有料での戸別収集を実施していること、また、住民よりも700倍も多い観光客を迎える村として湖畔のクリーン事業及び不法投棄（ポイ捨て、散乱ごみを含む）対策としてボランティア並びに行政関与で、各種の清掃活動や監視・指導活動を40年も前から続けていること。詳しい資料をもとに説明していただき、観光地をみんなで守ろうという村の熱意と努力に対して参加者全員が深い感銘を受けました。

### 《水処理～蒸発散による土壌トレンチ方式～》

ついで、今回の訪問のメインテーマである生活排水の土壌浸透装置（蒸発散方式）

について、村の指導要領及び施工図面をもとに、説明を受けました。住宅の89%は流域下水道に接続済みで、下水道が引けないような山間部の別荘については、土壌トレンチ方式による排水処理を行なっているという話でした。土壌トレンチ方式については、施工後は地下に埋設されてしまうため工事中でないと現物は見られず、あいにくと厳冬期のため現在工事中の物件はひとつもなく、残念ながら現物を見ることはできませんでした。建築確認申請を出す際に水処理に関しても必ず併せて届出をすることとなっていて、側溝を通して湖に流れ込むことがないように、万全の施策で湖の水質は守られているということで、改めて水源地域住民の方々の意識の高さを再認識しました。ところで、はなはだ残念なことでしたが、クリーンセンターの内部又はせっかく用意していただいたビデオも、時間の関係で拝見できずに、次の見学場所である交流プラザ「きらら」へ移動しました。

#### 《野外劇場・湿生花苑「きらら」にて》

「きらら」は、山中湖畔にある野外劇場・湿生花苑・スポーツ広場からなる富士山と山中湖の自然にふれるための交流拠点。

まず、管理棟でNPO法人「富士山自然学校」代表の渡辺長敬さんから、「きらら」の建設並びに運営に関する基本理念をお伺いしました。もともと山中湖周辺にあった自然を破壊しないよう、土ひとかけらにいたるまで持ち出さない、持ち込まないという方針で、建設・運営されているという話をお聞きし、強い感銘を受けました。



その後、渡辺さんと羽田さんの案内で園内の湿生花苑を見学しました。前記のような考えで整備した結果、稀少な植物も見られるようになったということですが、時節柄すべての植物が枯れていて、元気な姿を見ることができなかったのが心残りで、日を改めてまた来たいと思いました。「きらら」では行政とボランティア団体との見事な協働の姿を目の当たりにして、たいへん有意義な一日でした。

さらに、今頃は山中湖畔から有名なダイヤモンド富士が丁度見られる時期で、この日もすでに何人かのマニアがカメラを構えていましたが、時間と天候の関係でそれはあきらめて湖畔を後にしました。その後、昼食を持ってこなかった人や持ってきた弁当だけでは足りなかった人のためにそば屋に寄ってから、バスで山中湖村を後にしました。

#### 《まとめ～関係者の方々へのお礼とともに～》

山中湖村の全面的なご協力と羽田所長の懇切なご案内のおかげで、無事、目的を達することができました。ご協力いただいた関係者の方々に厚くお礼を申し上げます。午前中は自治体幹部職員から環境保全の話を聞き、また午後にはNPO市民団体のリーダーから現場で話が聞けたことは、流域協議会ならではの素晴らしい事業と言えましょう。なお、参加者からのアンケート調査は「大変有益でした」が圧倒的に多数を占めていました。

## 7 桂川・相模川クリーンキャンペーン 2006

( 報告者：神奈川県環境農政部大気水質課 )

### (1) 実施目的について

桂川・相模川クリーンキャンペーンは、「アジェンダ 21 桂川・相模川」の基本理念に定められている「散乱ごみ・不法投棄のない地域づくり」及び「市民、事業者、行政が連携した取り組み」の実践として、例年実施しているものです。

### (2) 実施内容について

#### ア 情報収集と情報発信

桂川・相模川流域の各地域で、ゴミ拾い等の流域環境保全活動を実践している方や団体から、その活動の実施予定情報を収集しました。

当協議会では、御提供いただいた実施予定情報をとりまとめ、リーフレットの配布や当協議会のホームページにより、年 2 回、情報発信しました。

#### イ 実施支援

当協議会に流域環境保全活動の実施予定をお知らせいただいた方や団体には、希望に応じて、軍手やゴミ袋( 国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所提供 )、簡易水質測定器 ( C O D、p H 等のパックテスト ) などの物資を提供しました。

#### 【2006 年度 資材提供実績】

| 品 目     | 提 供 総 数  |
|---------|----------|
| ゴミ袋     | 29,300 枚 |
| 軍 手     | 14,040 双 |
| 簡易水質測定器 | 625 個    |

### (3) 実施結果について

今年度実施した「桂川・相模川クリーンキャンペーン 2006」では、桂川・相模川流域の各地域で 37 回のキャンペーン事業が実施され、36,675 人が参加し、94,580kg のゴミを回収しました。

なお、実施結果の概要については、「桂川・相模川クリーンキャンペーン 2006 実施結果一覧」( 32 頁から 33 頁に掲載 ) のとおりです。

#### 【雨天で中止となったキャンペーン事業】

| 実施予定日        | 実施予定会場         | 主 催 者 (団体)            |
|--------------|----------------|-----------------------|
| 5 月 13 日 (土) | 永池川 (神奈川県)     | 永池川川歩き実行委員会           |
| 5 月 28 日 (日) | 目久尻川 (神奈川県)    | 高座地区河川をきれいにする会綾瀬地区部会  |
| 5 月 28 日 (日) | 相模川本流左岸 (神奈川県) | 桂川・相模川流域協議会相模川湘南地域協議会 |
| 5 月 28 日 (日) | 相模川 (神奈川県)     | 厚木市                   |

(4) 参加者の主な意見・感想について

- 自転車等の粗大ゴミは大幅に減ったが、ビニール類は相変わらず多い。
- 下水道の整備が進み、川に入っただけの作業を通して感じ取れる川の綺麗さは良くなっている。
- 河原でバーベキューをしたり、花火で遊んだりした後のゴミが多く見つかりました。「あゆみ橋」から「相模大橋」の短い区間でしたが、例年同様、花火がたくさん落ちていました。花火をした後は、懐中電灯でチェックして欲しいものです。子どもたちも怒っていました。
- 【水生生物調査を実施して】例年どおり、ヒゲナガカワトビゲラの幼虫が一番多く、全体としても水質がきれいなところに生息する水生生物を多く見ることができました。



相模川（平塚市民スポーツ広場周辺）  
でのキャンペーンの様子（4月16日）  
～回収した粗大ゴミ～



黒田川（上野原地区）でのクリーン  
キャンペーンの様子（9月15日）  
～重機のゴム製履帯を回収～



中津川（尾山耕地付近）でのクリーン  
キャンペーンの様子（11月26日）

# 「桂川・相模川クリーンキャンペーン2006」実施結果一覧

| 番号 | 実施日                         | 開催県  | 実施会場                  | 主催者(団体)                  |         |
|----|-----------------------------|------|-----------------------|--------------------------|---------|
| 1  | 4月2日(日)                     | 神奈川県 | 相模川(藤野町吉野)(国道20号)     | 藤野山岳会                    | 国道20号線ク |
| 2  | 4月(第4水曜日)、<br>5～7月(第2、4水曜日) | 山梨県  | 山中湖畔一円                | 山中湖観光地を美しくする会            | 住民による湖  |
| 3  | 4月16日(日)                    | 神奈川県 | 神ノ川(神の川林道)            | 藤野町山岳協会                  | 北丹沢神ノ川  |
| 4  | 4月16日(日)                    | 神奈川県 | 相模川(平塚市民スポーツ広場周辺)     | 特定非営利活動法人 PPG湘南平塚        |         |
| 5  | 4月22日(土)                    | 神奈川県 | 千の川(とはま人道橋～富士見橋)      | 千ノ川クリーンキャンペーン実行委員会       | 第13回千ノ川 |
| 6  | 5月7日(日)～<br>6月10日(土)        | 神奈川県 | 神奈川県内各海岸(38会場)        | 財団法人かながわ海岸美化財団           | ビーチクリーン |
| 7  | 5月7日(日)                     | 神奈川県 | 道志川(津久井湖～弁天橋)         | 津久井湖の自然を守る会              |         |
| 8  | 5月14日(日)                    | 神奈川県 | 目久尻川(海老名市内)(北部公園一帯)   | 目久尻川をきれいにする会             | 目久尻川クリ  |
| 9  | 5月14日(日)                    | 神奈川県 | 目久尻川(座間市内)(栗原遊水地～寒川橋) | 座間のホテルを守る会               | 目久尻川クリ  |
| 10 | 5月14日(日)                    | 神奈川県 | 目久尻川(綾瀬市内)(道庵橋周辺)     | 目久尻川ネットワークあやせ            | 目久尻川クリ  |
| 11 | 5月14日(日)                    | 神奈川県 | 道志川(このまさわキャンプ場)       | 藤野相模湖ライオンズクラブ            | 藤野・相模湖  |
| 12 | 5月28日(日)                    | 山梨県  | 道志村全域                 | 道志村                      | 道志村一斉清  |
| 13 | 5月28日(日)                    | 神奈川県 | 小出川(新鶴嶺橋周辺)           | 小出川に親しむ会                 |         |
| 14 | 6月4日(日)                     | 神奈川県 | 相模川(神川橋下流河川敷周辺)       | 寒川町                      | 相模川美化キ  |
| 15 | 6月4日(日)                     | 神奈川県 | 茅ヶ崎海岸(7会場)            | 茅ヶ崎市                     | 美化キャンペ  |
| 16 | 6月11日(日)                    | 神奈川県 | 相模川(相模原市内4地区7会場)      | 相模川を愛する会                 | 相模川クリー  |
| 17 | 6月11日(日)                    | 神奈川県 | 道志川(弁天橋周辺)            | 中道志川トラスト協会               |         |
| 18 | 6月25日(日)                    | 神奈川県 | 相模川(神川橋下流河川敷)         | 日本ボーイスカウト神奈川県連盟<br>寒川第一団 | さむかわまち  |
| 19 | 7月23日(日)                    | 神奈川県 | 道志川(津久井湖～弁天橋)         | 津久井湖の自然を守る会              |         |
| 20 | 7月30日(日)                    | 神奈川県 | 相模川(相模大橋周辺)           | 地球チャイルド                  | 相模川水質調  |
| 21 | 8月6日(日)                     | 神奈川県 | 相模川(三段の滝下多目的広場周辺)     | さがみはら緑の風                 | 自然観察会   |
| 22 | 8月12日(土)                    | 山梨県  | 笹子川(大月市笹子町阿弥陀海区公民館周辺) | 大月市笹子町阿弥陀海区              | 阿弥陀海区内  |
| 23 | 8月27日(日)                    | 神奈川県 | 茅ヶ崎海岸(7会場)            | 茅ヶ崎市                     | 美化キャンペ  |
| 24 | 9月3日(日)                     | 神奈川県 | 相模川(座間市相模川グラウンド)      | 座間市                      | 相模川クリー  |
| 25 | 9月～10月(第2、4水曜日)             | 山梨県  | 山中湖畔一円                | 山中湖観光地を美しくする会            | 住民による湖  |
| 26 | 9月9日(土)～<br>10月9日(月)        | 神奈川県 | 神奈川県内各海岸(38会場)        | 財団法人かながわ海岸美化財団           | 国際海岸クリ  |
| 27 | 9月15日(金)                    | 山梨県  | 黒田川(上野原地区)            | 有限会社 矢島園芸                |         |
| 28 | 9月24日(日)                    | 神奈川県 | 小出川                   | 小出川に親しむ会                 |         |
| 29 | 9月24日(日)                    | 神奈川県 | 荻野川(上清田谷橋～横林橋)        | 厚木荻野自然観察会                | 荻野川クリー  |
| 30 | 10月1日(日)                    | 山梨県  | 忍野八海～桂川(県立水産試験場下流まで)  | 忍野村観光協会                  | 水源の里忍野  |
| 31 | 10月1日(日)                    | 神奈川県 | 目久尻川(綾瀬市内)(道庵橋周辺)     | 目久尻川ネットワークあやせ            | 目久尻川クリ  |
| 32 | 10月15日(日)                   | 神奈川県 | 相模川(相模原市内)(流域4地区7会場)  | 相模川を愛する会                 | 相模川クリー  |
| 33 | 10月15日(日)                   | 神奈川県 | 道志川(弁天橋周辺)            | 中道志川トラスト協会               |         |
| 34 | 11月12日(日)                   | 神奈川県 | 相模川(神川橋下流河川敷)         | 日本ボーイスカウト神奈川県連盟<br>寒川第一団 | さむかわまち  |
| 35 | 11月19日(日)、26日(日)            | 神奈川県 | 中津川(尾山耕地及び八管橋周辺)      | あいかわ自然ネットワーク             | 中津川・尾山  |
| 36 | 11月26日(日)                   | 神奈川県 | 相模川(朝霧河畔緑地)           | 平塚市須賀公民館                 | 相模川クリー  |
| 37 | 2月25日(日)                    | 神奈川県 | 小出川                   | 小出川に親しむ会                 |         |

※ ごみの総合計量を推計するため、次により算出した。

- ・袋ごみは、1袋9kgとした。
- ・粗大ごみについては、各品目1点当たり、次の重量とした。
- ・具体名、数量が明示されていない粗大ごみ等は回収量に含めない。

タイヤ@7.8kg(トラック用@53.7kg)、  
テレビ@20kg、冷蔵庫@60kg、  
洗濯機@30kg、自転車@20kg、  
炊飯器@4.5kg

| 事業名               | 参加者数<br>(人) | ごみ回収量(kg) ※ 1kg未満は四捨五入 |           |                                       | ごみ清掃以外の実施項目 |        |
|-------------------|-------------|------------------------|-----------|---------------------------------------|-------------|--------|
|                   |             | 可燃ごみ                   | 不燃ごみ      | その他                                   | 簡易水質検査      | 水生生物調査 |
| 線クリーンキャンペーン       | 20          | 50                     | 350       | 〔 大型ダンブタイヤ1、<br>テレビ1 他〕 74            | －           | －      |
| る湖畔一斉清掃           | 9,600       | 9,980                  | 3,720     | －                                     | －           | －      |
| ノ川流域山開きクリーンキャンペーン | 30          | 150                    | 45        | －                                     | －           | －      |
| －                 | 10          | 50                     | 100       | 100                                   | －           | －      |
| ノ川クリーンキャンペーン      | 166         | 1,500                  | 270       | 300                                   | －           | －      |
| ーンアップかながわ2006     | 10,817      | 20,394                 | 6,520     | －                                     | －           | －      |
| －                 | 80          | 340                    | 可燃ごみに含まれる | －                                     | －           | －      |
| クリーンアップ大作戦        | 100         | 180                    | 54        | 〔 冷蔵庫2、洗濯機3、 テレビ2、<br>自転車14、タイヤ5〕 569 | －           | －      |
| クリーンアップ大作戦        | 40          | 1,000                  | 250       | －                                     | －           | －      |
| クリーンアップ大作戦        | 70          | 900                    | 450       | (自転車等5) 100                           | －           | －      |
| 琵琶湖Dキャンプとクリーン活動   | 25          | 45                     | 54        | －                                     | －           | －      |
| 斉清掃及び一斉消毒         | 780         | 0                      | 1,030     | (タイヤ28) 218                           | －           | －      |
| －                 | 15          | 90                     | 36        | －                                     | －           | －      |
| 化キャンペーン           | 1,611       | 440                    | 950       | 450                                   | －           | －      |
| ンペーンクリーン茅ヶ崎       | 1,500       | 3,360                  | 950       | －                                     | －           | －      |
| ーン作戦              | 870         | 690                    | 1,250     | －                                     | －           | －      |
| －                 | 30          | 600                    | 可燃ごみに含まれる | －                                     | －           | －      |
| まちぐるみ美化           | 50          | 90                     | 54        | タイヤ、家電等8(内訳等は不明)                      | －           | －      |
| －                 | 90          | 320                    | 可燃ごみに含まれる | －                                     | －           | －      |
| 質調査体験             | 22          | 18                     | 9         | －                                     | ○           | ○      |
| 会                 | 38          | 36                     | 9         | －                                     | ○           | ○      |
| 区内クリーン作戦          | 70          | 70                     | 100       | －                                     | －           | －      |
| ンペーンクリーン茅ヶ崎       | 1,400       | 1,690                  | 1,280     | －                                     | －           | －      |
| ーン推進運動            | 2,340       | 1,000                  | 4,000     | －                                     | －           | －      |
| る湖畔一斉清掃           | 2,000       | 4,970                  | 740       | －                                     | －           | －      |
| クリーンアップ2006       | 3,422       | 6,135                  | 4,706     | －                                     | －           | －      |
| －                 | 24          | 180                    | 1,350     | 90                                    | －           | －      |
| －                 | 20          | 180                    | 36        | －                                     | ○           | －      |
| ーンキャンペーン          | 14          | 9                      | 9         | －                                     | ○           | －      |
| 忍野八海クリーン作戦        | 100         | 600                    | 400       | －                                     | －           | －      |
| クリーンアップ大作戦        | 70          | 900                    | 630       | (自転車等5) 100                           | －           | －      |
| ーン作戦              | 986         | 1,030                  | 1,970     | －                                     | －           | －      |
| －                 | 90          | 1,440                  | 可燃ごみに含まれる | －                                     | －           | －      |
| まちぐるみ美化           | 55          | 99                     | 72        | タイヤ、自転車等6(内訳等は不明)                     | －           | －      |
| 山クリーンキャンペーン       | 10          | 30                     | －         | 45                                    | ○           | ○      |
| ーンキャンペーン          | 50          | 180                    | 36        | －                                     | ○           | －      |
| －                 | 60          | 2,250                  | 可燃ごみに含まれる | 〔 タイヤ3、テレビ1、<br>自転車3、炊飯器1〕 108        | ○           | －      |
| 合 計               | 36,675      | 60,996                 | 31,430    | 2,154                                 |             |        |
| ごみの総合計量(推計)       |             | 94,580kg               |           |                                       |             |        |

## 8 流域データベース化共同事業

（報告者：關 正貴）

### (1) 事業の実施目的

流域協議会は、2004 年度より日本大学系長研究室とのパートナーシップで流域情報を整備・管理する流域データベース化共同事業（DB 事業）を推進してきました。今年度で 3 年目となった継続事業です。

この DB 事業は、主として紙地図に描くことの出来る情報を GIS（地理情報システム）を活用して整理・整備するということと、図表などにまとめられた既存の情報を把握し整理することを目的としています。

### (2) 事業の内容

2006 年度の DB 事業の活動内容は次の通りになります。

#### ア 流域協議会事業の DB 化

まず、流域協議会事業の成果の GIS 化として、次の事業に対して実施しました。

#### （ア）流域ツアー＆ウォッチング （以下、T & W）

T & W でこれまで歩いてきたルートの中で可能なものから先に T & W 主催者及び関係者が 2 万 5 千分の 1 地形図に書き込んでもらい、日本大学系長研究室にて GIS に入力していただきました（図 1）。結果として、現在 9 ケ所の入

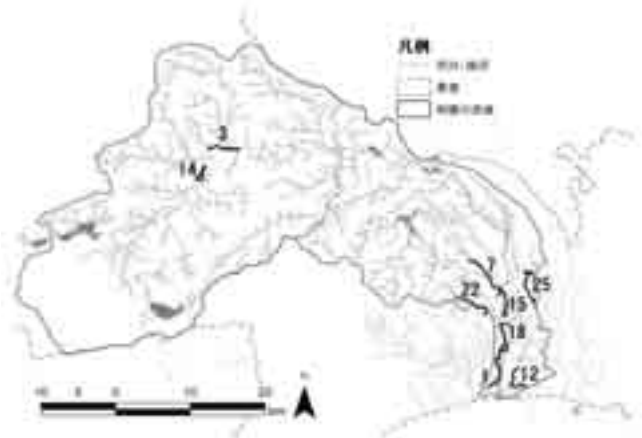


図 1 流域ツアー＆ウォッチングルートマップ

表 1 図 1 ルートに対応したネーミングと歩行距離

| 回数 | 開催年度 | ネーミング              | 歩行距離<br>(単位；k m) |
|----|------|--------------------|------------------|
| 1  | 1999 | 馬入川から寒川浄水場         | 10.4             |
| 3  | 1999 | 笹子川合流点から猿橋         | 6.6              |
| 7  | 2000 | 葦で水質浄化の荻野川         | 7.3              |
| 12 | 2001 | 小出川＆千の川（ちがさきのセーヌ川） | 6.5              |
| 14 | 2002 | 都留市小形山散策とホタル観察会    | 6.6              |
| 15 | 2002 | 相模大堰の上下流域でカワラノギク   | 6.2              |
| 18 | 2003 | 寒川～戸沢橋で植生観察        | 4.5              |
| 22 | 2004 | 玉川、日向川・七沢川合流点から下流  | 6.5              |
| 25 | 2005 | 目久尻川               | 8.2              |

力が終わり、流域内のどこで T & Wが行われてきているか、大体どのくらいの距離を歩いたのか（表 1）ということ等を T & W主催者、関係者だけでなく参加者等の全ての人達が情報を共有し、把握可能となってきました。

(イ) 身近な水環境の全国一斉調査（以下、一斉調査）

今年度は昨年度に引き続き一斉調査の情報を G I S 化しました。項目は C O D です。一斉調査にて座標整理までされている情報を G I S に取り込みました。作成された D B は昨年度作成した河川図と流域図とともに地図化しました（図 2）。旧年度との比較が可能になってきています。

イ 日本大学系長研究室との連携

今年度は独自情報である事業活動情報の G I S 化での連携のほかに既存情報である国土交通省がインターネットを介して配布している国土数値情報を活用して流域環境の可視化を試みました。項目は 1976 年と 1997 年の土地利用とその変化、土地分類（地形、土壌、地質）です。これらは支流域毎の参考資料として、2 月に開催された市民部会において配布しました（図 3）。

(3) 来年度に向けて

来年度は D B 事業を開始して 4 年になります。日本大学と共同することで、ゆっくりですが事業情報が蓄積されてきています。今後は、この事業情報の効果的な活用方法と管理方法をしっかりと考えていく必要があります。その上で流域協議会において事業活動情報の持続的な D B 化の可能性を探っていきます。



図 2 身近な水環境一斉調査マップ



図 3 国土数値情報を活用した支流域図

## 9 会報誌の発行事業

( 報告者：山梨県富士・東部林務環境事務所環境課 )

桂川・相模川流域協議会の活動状況やアジェンダの進捗状況について、広く会員等に周知するために会報誌「あじえんだ 1 1 3」を発行しています。2006 年度については、2006 年 10 月と 2007 年 3 月の 2 回発行しました。桂川・相模川流域協議会のホームページ( <http://www.katura-sagami.gr.jp/> )にアクセスすると、ご覧いただけます。今後も、環境に関する情報や流域の話題などを発信していきたいと考えております。



あじえんだ 1 1 3【第 17 号】  
(2006 年 10 月発行)



あじえんだ 1 1 3【第 18 号】  
(2007 年 3 月発行)

## 10 ホームページ運営事業

( 報告者：神奈川県環境農政部大気水質課 )

### (1) 事業内容について

桂川・相模川流域協議会では、広く情報を発信するため、2001 年 9 月からホームページを開設し、ホームページ運営委員会を組織して、掲載内容の確認や運営の意志決定を行っています。ホームページの運営及び更新等については、外部に委託することによって、より迅速に情報発信を行っています。

また、委託者からの提案もあり、2006 年 7 月 1 日には、さらに使いやすく、内容を充実させるため、リニューアルを行いました。

リニューアルにあたっては、より閲覧者の興味を引くことができるよう、新鮮さとインパクトのあるトップページデザインに変更するとともに、閲覧者が桂川・相模川流域のイメージを、より具体的かつ視覚的に感じとることができるよう、新たに「桂川・相模川流域マップ」を追加掲載しました。

このリニューアルにより、アクセス件数は、さらに増加しました。

### (2) アクセス件数について

2006 年 7 月 1 日のリニューアル後 ( 2006 年 7 月 ) の月間アクセス件数は、前月 ( 2006 年 6 月 ) と比較して約 1.5 倍となりました。リニューアル後のアクセス件数が大幅に増加したこともあり、今年度は過去最高のアクセス件数となりました。

#### 【各年度別アクセス件数】

| 年 度  | 件 数     | 累計件数     |
|------|---------|----------|
| 2001 | 800 件   | 800 件    |
| 2002 | 4,299 件 | 5,099 件  |
| 2003 | 5,266 件 | 10,315 件 |
| 2004 | 5,561 件 | 15,876 件 |
| 2005 | 6,853 件 | 22,729 件 |
| 2006 | 7,262 件 | 29,991 件 |

2001年度は 9 月から( 7 か月分 )

桂川・相模川流域協議会ホームページアドレス  
<http://www.katura-sagami.gr.jp/>



## 11 地域協議会の活動

### (1) 桂川・東部地域協議会

(報告者：山梨県富士・東部林務環境事務所環境課)

#### ア 役員会の開催

役員会 7 回開催

(4/14、6/13、7/12、8/24、10/12、1/23、2/13)

#### イ 総会の開催

2006 5.7(日) 大月市民会館

総会では、桂川流域の環境保全を図り、地域に密着した持続可能な循環型環境保全社会を築くことを目的とし、引き続き森林保全体験や環境学習会等、様々な事業を行っていくことが決定されました。

また、議事後には、富士・東部林務環境事務所県有林課 武井昭二課長による「F S C の森林管理認証制度について」の講演を行いました。

#### ウ クリーンキャンペーン、森林保全体験

(ア) 植樹体験(大月森づくり会協賛事業)

2006 4.30(日)大月市笹子町黒野田 43 名

笹子の民有林で行われた「大月森づくり会」主催『第 4 回森への想い育む植樹祭』に支援・参加。笹子川の河畔、サルやイノシシが出没し、竹藪に侵食されつつあった耕作放棄地を整地したところへ、アンズ・ユズやコブシなど今年度は比較的大きな苗木を植樹。その後、山梨県 F S C 材を使って作ったデッキ周りで主催者提供の昼食やバウムクーヘンづくり、恒例となっている「森のコンサート」オマタ・タツローさんの鳥と鳴き交わしながらの演奏を楽しみました。



(イ) 奈良子自然体験教室

2006 7.22(土)大月市奈良子 12 名

例年は、桂川鳥沢地区で行っていた川釣り教室のフィールドを葛野川支流の「奈良子釣りセンター」に移して開催しました。

この「奈良子釣りセンター」は、地元の環境活動に関心を持つ方が所有地を山林は炭焼塾に、そして隣接する桂川支流の上流を開発し、近年知られざる渓流スポットとして、自然を愛する釣り人の脚光を浴びている場所です。

異常気象の影響で集中豪雨があり増水で開催できるか心配されましたが、思いもかけない結果になりました。当日の参加者は天候と連絡の不備も重なり、上流のスタッフが多くなりました。しかも、ほとんどの人が生まれて初めて釣竿を持つ全くの初心者で、餌のイクラのつけ方から竿の振り方まで一時はどうなることやらといった状況でした。いよいよ釣り開始、最初の一投目から、あちらこちらで叫び声があがりました。まさに入れ食いの状態で世話役の人たちは、かかった魚を取り込むのに大忙し。午後 2 時から 2 時間あまりの大騒動になりました。

「渓流魚は増水後を狙え」のセオリーどおり、普段ならばニジマスが中心の釣り場なのに、ヤマメからなんとイワナまで入れ食いが続いたわけです。

当日の参加者のほとんどが、なんと渓流釣り憧れの魚を釣ってしまったわけです。釣った魚はそのままバーベキューガーデンで皆さんの胃袋におさまりました。この喜びと興奮を今後は地元の上流部から下流部の人々に経験してもらいたいと願っています。

(ウ) 桂川・相模川クリーンキャンペーン2006

2006 9.15(金) 上野原市鶴川支流 24 名

上野原地区黒田川沿い大平橋より、県道桐原・藤野線までの河川及び周辺のゴミ清掃を行いました。当日の安全確保と時間内に行うための予備として、一ヶ月前より踏査しゴミ収集のための草刈・除伐・伐採等を致しました。結果、可燃・不燃ゴミ等 2 t トラック 2 台分を収集しました。黒田川は林道沿いを流れる幅 3 ~ 5 m の川で、上流には市民の飲み水の取水場があります。今後地元の自慢の清流を汚さぬよう意識改革を促す啓発の立看板や地元・市・協議会などとも協力し、昔のようにホタルが多く住む里を復活させたいと思います。

(エ) 第 6 回きのこ植菌体験教室

2007 3.21(水) 都留市法能 48 名

本事業も今年度で 6 回目を数えました。今回は、都留市法能の敷地に会場を移し実施しました。コナラの本約 100 本にシイタケの種駒を植菌しました。

今回は山梨県富士・東部林務環境事務所の担当者の指導により、植菌後のホダ木の管理とシイタケ栽培のポイントにつ

いてしっかり学びました。参加者には、植菌後の原木を2本ずつ持ち帰ってもらい、その後のシイタケ栽培を各家庭で体験していただくことにしました。

## エ 活動継続・学習会

### (ア) NO<sub>2</sub> 測定調査

前年度に引き続き、2006年8月6日から2007年1月7日まで上野原市の測定ポイントにてNO<sub>2</sub>測定調査を行いました。上野原の調査地点10箇所のうち7箇所は前年度と同様の場所で、3箇所は新たな場所（国道20号線沿い、コモア地域、和見地域）で測定を行いました。

今年度の測定結果は、やはり交通量の激しい20号線沿い（2箇所）の測定値は高い値でしたが、環境基準値より低く、0.028ppm以下でした。また、北都留森林組合のある西原地域、八米地域、コモア地域、和見地域は、0.010ppm未満でした。他の上野原小学校、新町地区、平和中学校、上野原市庁舎庭は、0.020ppm未満でした。

来年度も、ぜひ継続して測定していきたいと考えています。

### (イ) 合併処理浄化槽学習会

#### ① 浄化槽先進地視察～旧牧丘町、旧三富村

2006.9.5（火）山梨市役所牧丘庁舎 28名

前半の研修会では、旧牧丘町及び旧三富村で進められてきた下水道事業及び市町村設置型浄化槽整備事業の概要とその経緯について、山梨市下水道課職員から説明を受けました。特に、過疎化により牧丘町の下水道整備計画エリアの一部を合併処理浄化槽整備エリアへと転換した経緯や、受益者負担の公平性を保つために下水道料金との比較検討の上で浄化槽の使用料を算定した経緯等について説明をいただきました。また後半は、合併処理浄化槽の設置場所を数ヶ所見学しました。その後、山梨市等4市の汚水を一括処理している「峡東浄化センター」の施設見学も行いました。



#### ② 浄化槽研修会

2006.9.27（水）南都留合同庁舎 44名

全国環境整備事業協同組合連合会の玉川会長を講師に迎え、既存の合併処理浄化槽を下水道管に繋げないようにした岐阜県揖斐郡揖斐川町の排水処理計画見直しによる費用削減の成功等を例に挙げ、自治体の厳しい財政状況下での合併処理浄化槽の有益性についてご講演いただきました。

#### ③ 流域の先進地視察～道志村

2006.10.3（火）道志村中央公民館 19名

前半の研修会では、水にまつわる道志村と横浜市との古くからの関係や、桂川流域で唯一の取り組みである道志村の市町村設置型浄化槽整備事業の概要について、道志村産業振興課職員から説明をいただきました。これにより使用者の負担額は設置費用の1割となり使用者の負担は軽減されるが、使用者から徴収する使用料だけでは維持管理費用を賄いきれず、財源の確保に苦慮している現状などについて知ることができました。また後半は、合併処理浄化槽の設置場所を数ヶ所見学しました。

## オ 河川環境調査他学習

### (ア) 全国水質一斉調査

2006.6.4（日）

桂川・相模川流域協議会が参加する「環境調査事業～身近な水環境の全国一斉調査」に桂川・東部地域協議会、帝京科学大学の学生が参加・協力しました。

### (イ) 川の中の実態調査

2006.8.25（金） 2006.9.8（金）

桂川本流の中でも景勝地として有名な猿橋、かつて国定忠治が猿橋の上から桂川に飛び込んで逃げたという伝説がありますが、かなり深い川の中の様子がどうなっているのか実態調査をしました。上野原在住のシマシマダイバーの小俣さん、協力者として鳥沢の山地さんに潜っていただき、水面からみた周辺対岸の様子や水の中の川底などの状態をビデオ映像にとってもらいました。一番深いところで8mくらい、大小の魚が泳ぐ姿も見られましたが、岩や川底にはヘドロ状態に堆積した様子やCD等プラスチック類、空き缶などもかなり見られました。この映像の一部は今年度シンポジウムで使いましたが、この調査をもとに次のステップを考えなければと思います。

(2) さがみはら地域協議会

(報告者：代表 松川 義彦)

ア 会議開催状況

- (ア) 総会 2006 .6 .17(土) 会員 40 名に対し、委任状 16 名 + 出席者 8 名で成立。
- (イ) 運営会議 4 回開催・・・2006 .5 .10(水) 参加者 6 名、2006 .7 .23(日) 参加者 4 名、2007 .1 .14(日) 参加者 5 名、2007 .3 .11(日) 参加者 5 名

イ 事業実施状況

- (ア) 相模原市主催の「みんなの消費生活展」に出展  
2006 .10 .21(土) \ 22(日) ミウヰ橋本 5 階のインナーガーデンにて開催  
「桂川・相模川流域協議会」で出展し P R しました。2 日間で来場者 1,350 人。ちなみにクイズラリーの問題は「相模川の源流はどこ？」でした。
- (イ) 里山体験講座事業  
2005 (平成 17) 年度は、田んぼの稲刈り体験講座を行いました。2006 (平成 18) 年度は、体験講座を拡大して、稲刈りだけでなく、里山の 1 年を通して体験し、水循環や生き物の生態を学ぶ「里山体験講座」を事業として実施しました。
  - a 第 1 回「田植えとホタル観察会」  
2006 .6 .11(日) 参加者 50 名(そのうち子供 18 名) 雨が降り続く中、実施したが、田植えが終わる頃には雨もあがり、初めての方も多く、感激していた。
  - b 第 2 回「田んぼの草取りと生き物調査」  
2006 .8 .28(月) 参加者 22 名、幼稚園児・小学生が多く、田んぼの周りの生き物(バッタ、コオロギ、ザリガニ)を探して、手で触ってもらい、ザリガニのオスとメスの見分け方などを説明した。
  - c 第 3 回「稲刈り」  
2006 .10 .15(日) 参加者 46 名、最後に全員で記念撮影。
  - d 第 4 回「収穫祭」  
2006 .11 .26(日) 参加者 50 名、子供たちに鳩川の生き物(9 種)の説明を実施し、パックテストと餅つきを体験してもらった。
  - e 第 5 回「里山の手入れ」  
2006 .12 .10(日) 枯葉を集め、堆肥作りを体験してもらった。



2006. 6. 11「田植え」



2006. 10. 15「稲刈り」

(ウ) 環境調査事業（相模川の支流合流点横断工作物調査）

2007.1.13(土) 串川・下倉川・藤木川・下河原川の4カ所を調査、参加者16名（そのうち、さがみはら地域協議会より8名参加）。

また、第2回の調査を2007.3.13(火)に実施し、小沢川・中津川・小鮎川・鳩川・八瀬川の5カ所を調査した。

(エ) 生ごみ堆肥化事業

2005(平成17)年度、水源林の荒廃を救う間伐材活用の推進を目的に間伐材生ごみ堆肥箱を作り、モニターを募集し、生ごみの計量を条件に、2005年9月から20名の方に実験を実施してもらっています。途中、意見交換を行い、現状の把握をしたところ、生ごみの堆肥化の成果として、4人家族で1ヶ月10～15kgの生ごみが減量できています。2005(平成17)年度のモニターの方には、2006(平成18)年度も継続して実験を実施してもらっており、1年間の実験結果をまとめ、ごみの減量について、話し合う場として、実験発表会を計画し開催しました。

【「生ごみフォーラム～生ごみは宝物～」開催】

2007.3.17(土) 相模原市立環境情報センター 大会議室

相模原市内各地での生ごみ資源化の取組事例を紹介し、市民・事業者・行政で生ごみの未来を考える。参加者65名。

○ パネリスト

農業法人モナの丘 BePCCS 環境緑化研究所 所長 田中榮一氏

小田急フードエコロジーセンター 獣医師 高橋巧一氏

さがみはら地域協議会 運営委員 畠山博子氏

○ 現状報告（相模原市環境事業部ごみ減量推進課 副主幹 山崎敏夫氏）

農業法人モナの丘では、生ごみを有機液体肥料化し、農園で有機野菜を育てている事例の紹介あり。現在50kg/日であるが、3t/日にしようと考えているとのこと。小田急フードエコロジーセンターでは、生ごみを70事業所より収集し、養豚用リキッド発酵飼料としている事例の紹介あり。さがみはら地域協議会からは、間伐材で製作した生ごみ堆肥ボックスの実証実験について報告した。相模原市からは、容器包装の資源回収による焼却ごみ減量の現状報告があった。午後1時から4時までの4時間休憩なしで数多くの意見・質問があり、生ごみを資源として循環させる社会を形成していく事が重要であることを理解していただけたと思う。



2007.3.17「生ごみ・フォーラム」

### (3) 相模川湘南地域協議会

( 報告者：代表 井上 駿 )

4月22日、総会に先立ち会員の廣瀬英策氏に講師をお願いして、講演会「相模湖・相模川・湘南海岸の土砂対策」を行った。

5月28日、クリーンキャンペーンを予定していたが雨のために中止した。

6月4日、環境事業調査「身近な水環境の全国一斉調査」に参加し、会員の住む地域の河川の水環境調査(写真 )を行った。相模川のほか、地元数河川で会員外も含む7名がそれぞれ3地点程度を測定した。



写真① 慎重な手つきの水質測定

7月22～23日、茅ヶ崎市文化資料館の夏休み自然教室にパネル展示及びメダカ・ミミズを持ち込んで参加し、小・中学生と交流した。

8月22日、上下流交流事業に参加し、茅ヶ崎海岸での地引き網(写真 )を楽しんだ後、海岸清掃(写真 )を行い、さらに、財団法人かながわ海岸美化財団を見学した。参加者は83名で、下流側からは、寒川町の小学生(25名)も参加した。当地域協議会の会員参加者は15名であった。



写真② 山梨の山の子たちと地引き網



写真③ 食後の運動？海岸清掃

9月16日、平塚市博物館で見学学習会「展示にみる相模川の姿、相模川の舟運の歴史」を開催した。講師は、会員の中門吉松氏で参加者は18名であった。

9月23日、森づくり専門部会主催の見学会「木を切り出すところから見せる流域材の家づくり」に当地域協議会から会員外を含めて2名が参加した。

10月14日、現地観察会「相模川下流部左岸に広がる水害防備林」を行った。参加者は5名であった。湘南ケーブルテレビの取材を受けた。

11月2日、学習会「今年の各河川の水質はどうだったか」を茅ヶ崎市役所で行った。流域協議会市民会員である宮野貴氏の講演の後、調査に参加した各会員から報告が

あった。参加者は会員外も含めて 20 名であった。神奈川新聞と湘南ケーブルテレビの取材を受けた。

11 月はじめに「湘南野鳥図鑑」を 5,000 部刊行し、神奈川新聞に取り上げられた。  
(記事は、資料 58 頁参照)

同月 12 日に、上野原市文化ホールで開かれた「桂川・相模川流域シンポジウム『水源地からの警告～誰が私たちの飲み水を守るのか～』」に当地域協議会の会員 2 名が「湘南野鳥図鑑」を中心とするパネル展示を持って参加した。

2007 年に入り、2 月 5 日から 3 月 1 日にかけて、湘南ケーブルテレビのシリーズ放送「ひらつか環境ファンクラブ『環境の達人たち』」で当地域協議会が取り上げられ、毎日 2 回 10 分ずつ放映された。

2 月 18 日、ひらつか市民活動センターで開催された「ボランティア博覧会」に展示パネルを持って参加し、展示の豊富さで多くの参加者の注意を惹いた。

2 月 20 日、流域ツアー＆ウォッチング「桂川・相模川の源流 山中湖村訪問」に会員 2 名で参加し、井上会員が案内人として「生活排水の土壌処理」を報告した。

3 月 11 日、講師に「こまたん」の金子典芳氏と山田文則氏を招き、シンポジウム「湘南の豊かな自然に生きる野鳥たち」を平塚市博物館で開催した。

当日の来場者は、200 名を超し、立ち席を含めての参加者は、講師・スタッフの 9 名を除いて 153 名(写真)、折角来場頂いた方々にお帰りいただかねばならなかったことは大きな反省点であった。湘南ケーブルテレビの取材があり、3 月 13 日から 19 日まで 1 日 3 回から 6 回「情報カフェ湘南館」という番組の中でその状況が放映された。このシンポジウムが事前に記事として取り上げられたのは、全国紙(湘南版)では朝日新聞 2 月 28 日、読売新聞 3 月 8 日(記事は、資料 59 頁参照)、地元紙ではタウンニュース・平塚版 3 月 8 日、湘南ホームジャーナル 3 月 9 日、湘南新聞 3 月 10 日であった。



写真④ 立錫の余地のないシンポジウム「湘南の豊かな自然に生きる野鳥たち」会場

(4) 相模川よこはま地域協議会  
( 報告者：会長 牧島 信一 )

2005 (平成 17) 年度は、相模川よこはま地域協議会 (以下「よこはま地協」と略す) にとって、“水” 探検と協働の元年であり、続いて 2006 (平成 18) 年度はまさに行動・協働の年でもあった。かながわ水源環境保全・再生実行 5 年計画の事業枠組みが具体的に示されたこと、また横浜国立大学の「GIS プラットフォーム」が動き始めたこと等々もあって、内外多彩な活動年度だった。

総会は、2006 年 6 月 8 日、かながわ県民センター (横浜市神奈川区) にて開催し、15 名参加。2005 年度の決算と 2006 年度の予算が承認された。横浜市環境創造局環境科学研究所の加藤良昭氏より「湧水・地下水と水環境」と題して記念講演を行った。

ア 交流・啓発事業について

◆ 2006 / 6 / 25 : 青木ヶ原樹海

温暖化防止エコ交流ツアーを共催

青木ヶ原樹海を満喫した。案内人は動物の写真家として有名な中川雄三さん。事業としては、かながわアジェンダ推進センターと共催し、よこはま水と森の会のメンバーとも協力しながら、温暖化防止活動推進員とその家族を交えて 25 名が交流を図った。温暖化の影響を受けている富士山麓を視察。自然の仕組みの不思議さとともに、富士山の永久凍土が徐々になくなりつつあること、ヒートアイランド現象のようなことが起こりつつあることを聞いてびっくり。

◆ 2007 / 10 / 9 : 藤野町篠原  
ぐるっとお散歩篠原展に参加

水源地域との交流のために 5 名が参加。開催地篠原は水源地域の藤野町にあり、様々な分野の芸術家が居住し、味わいのある里を形成している。今回の主目的は、NPO 法人を地域で設立し、篠原小学校の廃校後、保育園を運営し、

その校庭には石釜が設置されているので、地域のお祭とその石釜で実際にパ



ンが焼かれているところを見ること。まさに石釜も施設の中心的存在感

をもって、地域のお祭に一役買っていた。若い日大生のボランティアによるレストランはとても賑わっていた。

◆ 06 / 10 / 21 - 22 : 横浜市

かながわアジェンダの日 2006 へ出展

よこはま地協として出展。当報告書 (47 頁) の連携事業に紹介。他の地域協議会の活動も紹介したことは初めての経験。今回は第 1 回目の開催で 2 日間の入場者は、3,054 人。

◆ 2006 / 11 / 12 : 上野原市

桂川・相模川流域シンポジウムへ出展

シンポジウムの参加とともに、よこはま地協として出展し、活動を紹介。

◆ 2006 / 12 / 12 : 小田原市

酒匂川流域との交流会

荒廃したみかん山を再生すべく、頑張っている NPO 法人みかんの花咲く丘と共催して、交流会を開催した。事務局の東山さんからみかん狩り案内、河千田さんから地産地消、生命と健康のために必要な食育の問題等々の講話もあり、多彩な一日でした。

◆ 2006 / 12 / 17 : 横浜市神奈川区  
地球温暖化防止の集い “みず分科会”

神奈川県の新アジェンダ 21 かながわの中で重要な “みず” に関する分科会をよこはま地協が企画コーディネートした。桂川・相模川流域、酒匂川流域、そして鶴見川流域から 6 つの市民団体と、シジミ調査の向上高校、GIS プラット

フォーラムの横浜国立大学佐土原研究室からの参加があって、各流域に横串を入れ、課題を展望することができた。(当報告書 47 頁参照)

◆ 07 / 03 / 17 - 18 : 横浜市中区  
市民活動フェア 2006 へ出展

よこはま地協の重要行事の一つ。かながわ県民活動サポートセンターが年に一度最大に賑わう市民団体主催のイベント。今年は水源地域を紹介するために道志村のクレソン、富士吉田市のうどんを即売。また、「横浜の水道水」「はまっ子どうし」他各種ミネラルウォーターを含めて 6 種類の水の味比べをした。硬度は 30 から 1,468 までの味比べ。美味しさは人さまざままで水談義が面白



かったとは、やってみての感想。水道水はやさしい味で美味しいとの評価が多かった。人気コーナーとしてスタート。6 名体制で実施。

イ 学習・研究事業について

◆ 2006 / 6 / 4 : 横浜市戸塚区

身近な水環境の全国一斉調査への参加

昨年に続いて 4 名が参加。今年後半から、各流域の市民団体に対して、参加を呼びかけた。蒔いた種が実ることを期待しつつ。

◆ 2006 / 10 / 1 : 東京都葛飾区  
金町浄水場の見学会を主催

高度処理技術の先端をよこはま地協会員 7 名が視察、都民と一緒に案内を受けた。高度浄水処理施設(オゾン処理)の完成・水系上流の下水処理能力の向上により、現在では東京で一番おいしい水・きれいな水との評価を受けるに至っ

た。職員が努力をしている様子がよく分かった。

◆ 2006 / 10 / 30 : 横浜市栄区  
栄第二水再生センター見学会主催

よこはま地協会員 7 名が参加。今回の目的は、限られた土地を有効に使うために、処理施設を立体的に組み合わせること(急速ろ過装置は 2 層積み)及び深く造ることなどの技術とシステムを見学した。

◆ 2007 / 3 / 24 : 厚木市、清川村  
水源地域学習会(七沢、宮ヶ瀬)を主催

12 名がマイクロバスで七沢にある自然環境保全センター・自然観察園(湿地や雑木林、竹見本園) 宮ヶ瀬湖(水の郷交流館、宮ヶ瀬ビジターセンター)等々を見学した。

案内人の丸岡さんから、伺った、七沢から宮ヶ瀬湖への途中の愛川層群が 2,400 万年前に太平洋沖合でつくられたという話が印象的だった。

他に、役員・事務局等が自主的に出席、参加した行事は以下の通り：

2006 / 8 / 26 : 横須賀市

神奈川の水源地見学会 I N 横須賀に参加。

2006 / 10 / 28 : 横浜市中区

かながわ水源環境保全・再生県民シンポジウムに参加。

2006 / 11 / 9 : 横浜市中区

流域 G I S プラットフォームに出席。

2006 / 11 / 10 : 相模原市

地球温暖化防止活動推進員等研修会みず分科会第 1 回開催に協力。

2006 / 11 / 17 : 横浜市戸塚区

地球温暖化防止活動推進員等研修会みず分科会第 2 回開催に協力。

2007 / 1 / 13 : 城山町

環境調査事業「相模川の支流合流点横断工作物調査」に参加。

2007 / 2 / 20 : 山梨県山中湖村

流域ツアー＆ウォッチングに参加し、交流を深めた。

## 12 外部との交流・連携

### (1) 循環型まちづくりツアーに参加して

#### (ア) ダム湖の土砂堆積を救う「石丸積工法」(群馬県多野郡神流町)

(報告者：倉橋満知子)

2005(平成17)年度に森づくり専門部会の見学学習会として、岩手県紫波郡紫波町を訪問し、流域外で取り組まれている先進的实践を学習し、その技術やノウハウは、桂川、相模川流域にも生かされる意義を感じました。また、指導的に働きかけてくれたNPOの存在にも新たな意義を感じました。その成果を踏まえて、今年度も11月29日～30日に第二回の循環型まちづくりツアーである「群馬県神流町・玉村町循環型まちづくりツアー」を実施しました。

このツアーは、NPO法人 建物と人と環境のフォーラムが主催した企画であり、流域協議会からは私が一人個人参加しました。神流町と玉村町をそれぞれ一日ずつ訪問する日程でしたが、私は神流町だけの見学に行ってきました。

平成15年に万場町と中里村が合併し誕生した群馬県多野郡神流町は、秩父の山ふところに位置する人口3,200人、神流川から生産される「三波石」と多くの石積み職人のいる町です。今回のツアーでは、その小さな町の石丸積工法を学習見学しました。

石丸積工法はコンクリートを全く使用せず、現場発生材を使用し、石を垂直に積む工法で、水の浄化と魚や微生物の生態を助ける多自然型工法であり、そのうえコストが安いという、いいこと尽くめの工法で、実際に見てみると、大きな石と石が組み込まれた間から水が順番に流れ落ちて、小さな滝が次から次へと伝わり落ちていく。コンクリート堰堤のように水底がえぐられていない。また、堰堤面に取り残された土砂が堆積しているが、面積が小さいので渇水期に簡単に取り除け、ヘドロ状にならない。魚類も石と石の間に逃げ込めるし、水が石の間を通過することによって浄化されている。桂川、相模川の無機質な砂防ダムやテトラポットが目につくたび、私たちの流域にもぜひ実証してみたいと心を感じ入った見学会でした。

#### (イ) 「無農薬緑地管理」は可能だ！(群馬県佐波郡玉村町)

(報告者：NPO法人 建物と人と環境のフォーラム 田嶋 龍司)

私が理事長を務める「NPO法人 建物と人と環境のフォーラム」では、群馬県佐波郡玉村町の河川敷にある「玉村町東部スポーツ広場公園」において、無農薬による緑地管理を2006年4月から実践しております。今回の循環型まちづくりツアーは、その実践事例をたくさんの方々に知っていただきたいという思いから開催しました。

同公園には桜が植栽されており、春には花見に訪れる人で賑わいます。園芸種である桜(主にソメイヨシノ)は、当然のことながら人間の手入れがかかせません。

青森県弘前市では、ここ10年ほど、農薬を散布しないで、細やかな剪定・整枝作業により桜の病虫害予防を行っている事例があります。しかしながら、品種改良し「いいとこどり」をした結果、桜の環境適応能力・再生能力が低下していることもあり、無農薬による緑地管理は、全国的にみれば、まだまだ普及していないのが実情です。

「農薬を使用しない緑地管理」を実践していくためには、細やかな配慮と多くの労力が必要となりますが、条件が整えば従来の農薬に頼った緑地管理と同程度のコストで実現可能です。また、環境循環システムにかなう効果も期待できることから、今後も、この「無農薬緑地管理」を全国に広めるべく人事を尽くしたいと考えています。

(2) かながわアジェンダの日 2006

(報告者：牧島 信一)

期間：2006年10月21日(土)～22日(日)

主催：“アジェンダの日 2006”実行委員会(神奈川県、かながわ地球環境保全推進会議、神奈川県地球温暖化防止活動推進センター、東京電力株式会社、東京ガス株式会社、株式会社神奈川新聞社、株式会社テレビ神奈川)

会場：第1会場 横浜産貿ホール、第2会場 ワークピア横浜



2003年10月に県民、企業、行政などの全ての行動主体が協働して採択した『「新アジェンダ 21 かながわ」～持続可能な社会への道しるべ～』ですが、採択してから3年が経過し、最近では、ますます地球温暖化など人類の生存を脅かす環境問題が顕在化しつつあります。

そこで、今回は初めての開催でもあり、時間的な余裕もない中で開催されましたので、相模川よこはま地域協議会がとりまとめをして、流域協議会本体の協力と各地域協議会の情報提供で出展しましたので報告します。2日間の開催で3,054人の来場で盛況でした。ブース訪問者は250人ほど。水道水の水源の問題についての関心が高かった。参加した地域協議会のメンバー(牧島、林、小泉、友澤、佐々木)で説明しました。



(3) 地球温暖化の集い 2006

(報告者：牧島 信一)

期間：2006年12月17日(日)

主催：神奈川県地球温暖化防止活動推進センター(特定非営利活動法人かながわアジェンダ推進センター)、かながわ地球環境保全推進会議、神奈川県

会場：開港記念会館講堂・会議室

知事出席で、かながわ地球環境賞受賞式の後、地球温暖化防止の集いが昨年に引き続いて開催され、7つの分野で分科会が開催されました。相模川よこはま地域協議会会長として牧島が参画し、水分科会のコーディネータを務めました。参加した団体は、桂川・相模川流域協議会、酒匂川流域グリーンフォーラム( & N P O 法人職人の森 ) 「生きのこれ川」の応援団(千の川)、酒匂川メダカトラスト、矢上川で遊ぶ会、目久尻川をきれいにする会、そして当日参加の「向上高校生物部」(シジミ調査)、神奈川県拡大流域圏空間情報プラットフォーム研究会も参加して、流域を巡る課題について活動報告と共に意見交換会が行われました。まとめとして、水源林保全・再生とともに流域材の活用、水浄化の進展と多自然川づくり等による水質の向上とともに豊かな生物の生息(アユの遡上)等に関する指標化等々。なお、当協議会代表幹事の河西悦子さんには、大月から横浜まで出かけての参加でした。感謝。

(4) 横浜国立大学佐土原研究室の研究に「共同研究団体」として参加 !!

( 報告者：神奈川県環境農政部大気水質課 )

横浜国立大学大学院環境情報研究院佐土原研究室では、ニッセイ財団からの助成を受けて「持続可能な拡大流域圏の地域住民、NPO、行政、研究者の実践的協働を実現する空間情報プラットフォーム」の研究に着手することとなりましたが、同研究室から当協議会に、共同研究団体として参加依頼がありました。

当協議会では、この研究が桂川・相模川の流域環境保全に役立つことが期待されることや、この研究に当協議会のこれまでの活動成果や会員の意見を反映させることが望ましいことから、この申出を受諾することといたしました。

2006 年 10 月 7 日には、相模原市内で開かれた第 6 回市民部会に佐土原教授にお出でいただき、研究の内容についてご説明いただいたほか、同年 11 月 9 日には横浜市開港記念会館で開催された第 1 回研究会に、河西代表幹事をはじめ当協議会から 8 名の市民が出席し、意見を述べました。

この研究では、地理的な情報をコンピュータ上でデータベース化することで、地図の上で様々な地理情報を重ね合わせることができるので、例えば河川の水質と土地利用、流域の経済活動などといった、今まで関連づけが困難であった分野同士を結びつけることができます。このプラットフォームを活用することで、流域の環境保全に関する新たな発見や、具体的な施策の提案や検証ができるようになるかもしれません。

(5) 平成 18 年度 KANAGAWA Clean Wave Network ～

山・川・海 生き生きクリーンキャンペーン～との連携について

( 報告者：神奈川県環境農政部大気水質課 )

このキャンペーンは、神奈川の豊かな自然環境を保全する取組みとして、丹沢大山クリーンピア 21 ( 事務局は、神奈川県自然環境保全センター ) 及び財団法人かながわ海岸美化財団が主催するもので、山・川・海の各地域で行われている美化運動を統一的行い、地域を越えてより密接に連携することによって、より強固な山・川・海のクリーンネットワークを構築して美化運動を推進することを目的とした、平成 14 年度から行っている「運動の波 ( Wave )」です。

当協議会では、例年、当該キャンペーンとの連携を図っておりますが、今年度においても、2006 ( 平成 18 ) 年 10 月 7 日から 11 月 25 日までに開催された当該キャンペーンの趣旨に賛同し、協賛しました。

今年度は、10 月 7 日に寄自然休暇村管理センター前及び 11 月 5 日に茅ヶ崎市ヘッドランドで開催されたメインキャンペーンを始め、県内各地の山・川・海において清掃作業等が行われ、合計で 315 団体、6,901 名の参加があり、16,078kg のゴミを回収しました。

# 桂川・相模川流域協議会規約

(名 称)

第1条 この会は、桂川・相模川流域協議会（以下「流域協議会」という。）という。

(目 的)

第2条 流域協議会は、桂川・相模川の流域（河川において地表に降った降水を集水する地形的な範囲をいう。以下同じ。）の行動計画である「アジェンダ21 桂川・相模川」を推進することにより桂川・相模川の流域の環境保全を図り、もって、持続可能な発展を基調にした環境保全型社会を築くことを目的とする。

(事 業)

第3条 流域協議会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 「アジェンダ21 桂川・相模川」の策定、推進、評価及び見直し
- (2) 桂川・相模川の流域の環境保全を図るための事業
- (3) 流域協議会の会報誌の発行
- (4) その他流域協議会の目的達成のために必要な事業

(会 員)

第4条 流域協議会の会員は、正会員及び賛助会員とする。

- 2 正会員は、桂川・相模川の流域の市民、事業者（公営企業を含む。以下同じ。）、行政（地方公共団体（公営企業を除く。）及び国をいう。以下同じ。）、桂川・相模川の水を水道水として利用している者その他流域の環境保全に関係する者で、本会の目的に賛同する者とする。
- 3 賛助会員は、本会の目的に賛助協力する者とする。
- 4 流域協議会の会員は、会費、負担金、賛助金（以下「会費等」という。）を納めるものとする。
- 5 会費等は、年額とし、毎年納入通知により定められた時期までに納入しなければならない。
- 6 会員は、流域協議会が行う事業への優先参加並びに流域協議会が発行する会報誌及び図書の優先配布を受けることができる。

(入会及び脱会)

第5条 流域協議会の入会及び脱会に関する事務は、事務局（第15条に規定する事務局をいう。）が行う。

(役 員)

第6条 流域協議会に、次の役員をおく。

- (1) 代表幹事 5名
- (2) 幹事 主体（市民、事業者及び行政をいう。以下同じ。）別部会毎に5名以上10名以内  
地域協議会（第11条の規定により地域に設置された協議会をいう。）毎に1名
- (3) 会計 1名
- (4) 監事 3名
- 2 役員は、会員の中から、幹事は各主体別部会、地域協議会が推薦した者について総会において承認し、その他の役員は総会で選出する。
- 3 代表幹事は、幹事の互選により定める。
- 4 役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 5 役員が欠けた場合における補欠役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員の職務等)

第7条 代表幹事は、流域協議会を代表し会務を総理する。

- 2 幹事は、流域協議会の運営について協議する。
- 3 会計は、流域協議会の会計事務を担当する。
- 4 監事は、流域協議会の会計及び会務執行を監査する。

(総 会)

第8条 総会は、定期総会及び臨時総会とし、代表幹事が招集する。

- 2 定期総会は、会計年度終了後、毎年1回、開催する。
- 3 臨時総会は、代表幹事が必要と認めたとき、又は、幹事会若しくは監事の要求があった場合に開催する。
- 4 総会の議長は、その総会において選出する。
- 5 総会は、次に掲げる事項を協議・決定する。
  - (1) 規約の制定、改廃
  - (2) 会計及び監事の選任並びに幹事の承認
  - (3) 事業計画及び収支予算に関する事項
  - (4) 事業報告及び収支決算に関する事項
  - (5) その他幹事会が必要と認める事項
- 6 総会は、会員の現在数の2分の1以上の出席（委任状を含む。）がなければ開くことができない。
- 7 総会の議決は、流域協議会が流域環境保全の合意を形成するための協議の場であることに鑑み、正会員の合意をもって行う。
- 8 総会において議決に至らなかった事項については、総会において、各主体から5名以内の会員を選出して、協議機関を設置し、協議・決定するものとする。この協議機関における協議決定事項は、流域協議会の総会の議決とみなす。

(幹事会)

第9条 役員は幹事会を組織し、幹事会は総会で議決した事項を執行する。

- 2 幹事会は、必要に応じ代表幹事が招集し、幹事会の議長は代表幹事の中から選出する。
- 3 幹事会は、流域の環境保全の取り組みに関し合意を形成するための協議の場であり、「アジェンダ21 桂川・相模川」の達成

状況の評価、見直し、流域協議会の取組み等について協議する。

- 4 幹事会は、総会に付議すべき事項を協議・決定する。
- 5 幹事会は、事務局長及び事務局員について、協議・決定する。
- 6 幹事会は、協議に必要な会員の出席を求め、その意見を聞くことができる。

（主体別部会）

第 10 条 流域協議会に主体別部会を置く。

- 2 会員は、主体別部会にそれぞれ所属する。
- 3 主体別部会は、「アジェンダ 21 桂川・相模川」の達成状況の評価、見直し、流域協議会の取組み等について協議する。
- 4 主体別部会は、流域協議会の運営を行う幹事を選任する。
- 5 主体別部会の運営については、主体別部会がそれぞれ定める。

（地域協議会）

第 11 条 地域における桂川・相模川の流域の環境保全の取組みを推進するため、地域協議会を設置することができる。

- 2 地域協議会は、流域協議会の運営を行う幹事を選任する。
- 3 地域協議会の運営については、地域協議会が定める。

（専門部会）

第 12 条 幹事会に、流域の環境保全に関し専門的に検討するため、専門的な事項別に、専門部会を設置することができる。

- 2 専門部会は、専門的な事項に関係のある主体で構成し、検討結果を幹事会に報告する。

（会 計）

第 13 条 流域協議会の活動に要する経費は、会費等、補助金その他の収入をもってあてる。

- 2 流域協議会の会計年度は、4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。
- 3 会費等の規定については、別に定める。

（委 任）

第 14 条 この規約に定めるもののほか、流域協議会の運営その他必要な事項は別に定める。

（事務局）

第 15 条 流域協議会に事務局を置く。

- 2 事務局には、事務局長及び事務局員を置くことができる。

（附 則）

- 1 この会則は、平成 10 年（1998 年）1 月 20 日から施行する。

（附 則）

- 1 この会則は、平成 10 年（1998 年）1 月 31 日から施行する。

（経過措置）

- 2 流域協議会の設立当初の会計年度は、第 13 条の規定にかかわらず、設立の日から 3 月 31 日までとする。
- 3 流域協議会の設立当初の役員の任期は、第 6 条第 4 項の規定にかかわらず、設立の日から平成 10 年（1998 年）度で開催される定期総会までとする。

（附 則）

- この会則は、平成 18 年（2006 年）5 月 27 日から施行する。

## 桂川・相模川流域協議会の運営に関する細則

平成 10 年（1998 年）1 月 20 日制定

平成 11 年（1999 年）5 月 29 日一部改正

桂川・相模川流域協議会規約第 14 条の規定に基づき、桂川・相模川流域協議会（以下「流域協議会」という。）の運営に関する細則を次のとおりとする。

- 1 桂川・相模川の流域の環境の保全に向けて、「アジェンダ 21 桂川・相模川」を推進するとともに、市民、事業者、行政（以下「主体」という。）は、継続した協議を通じて相互に理解を深め、合意を形成する。
- 2 流域協議会を開かれたものとするため、必要な情報は共有する。
  - ・流域協議会の議事内容は公開とする。
  - ・会員は、幹事会、地域協議会、専門部会に参加することができる。
- 3 流域協議会の会員は、桂川・相模川流域の環境保全の取組みについて対等な立場で提案し、協議を行う。
- 4 各主体は、「アジェンダ 21 桂川・相模川」及び流域協議会の合意事項を尊重するとともに、実効性のある環境保全のための方策を推進する。
- 5 各主体は、必要に応じて、学識経験者・専門家の出席について合意し出席を要請する。
- 6 幹事は、必要な場合は、代理者を立てることができる。
- 7 4 月 1 日から定期総会が開催される日までの間の流域協議会の事業の実施については、幹事会において決定し、会計はその経費を支出することができる。

【2006年度 桂川・相模川流域協議会 役員及び事務局名簿】

| 役員   |       | 市民部会                                                        | 事業者部会                            | 行政部会                                                                     | 地域協議会                                                              |
|------|-------|-------------------------------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| 代表幹事 | 山 梨 県 | 河西 悦子                                                       |                                  | 山 梨 県 (森林環境部循環型社会推進課)                                                    |                                                                    |
|      | 神奈川県  | 倉橋 満知子                                                      |                                  |                                                                          |                                                                    |
|      | 国     |                                                             |                                  | 国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所                                                      |                                                                    |
|      | 山 梨 県 | 河西 悦子<br>中村 道子<br>樋口 重喜<br>宮野 貴                             | 北都留森林組合<br>東京電力株式会社 山梨支店大月支社     | 山 梨 県 (森林環境部循環型社会推進課)<br>都留市<br>西桂町                                      | 桂川・東部地域協議会<br>勝俣 藤久                                                |
| 幹事   | 神奈川県  | 倉橋 満知子<br>鈴木 直子<br>關 正貴<br>林 久男<br>NPO 法人 建物と人と<br>環境のフォーラム | いであ株式会社<br>株式会社すとりく<br>横須賀市上下水道局 | 神奈川県 (環境農政部大気水質課)<br>茅ヶ崎市<br>相模原市<br>清川村                                 | さがみはら地域協議会<br>松川 義彦<br>相模川湘南地域協議会<br>井上 駿<br>相模川よこはま地域協議会<br>牧島 信一 |
|      |       |                                                             |                                  |                                                                          |                                                                    |
|      |       |                                                             |                                  | 神奈川県 (環境農政部大気水質課)                                                        |                                                                    |
|      |       |                                                             |                                  | 道志村                                                                      |                                                                    |
| 事務局  | 山 梨 県 | 石田 幸彦                                                       | 津久井郡森林組合                         | 山梨県森林環境部循環型社会推進課<br>〔 関口 通哉 伊藤 洋一 〕<br>山梨県富士・東部林務環境事務所<br>〔 渡邊 茂 佐藤 久男 〕 |                                                                    |
|      |       | 小西 一郎<br>松川 義彦                                              |                                  | 神奈川県環境農政部大気水質課<br>〔 渡辺 一法 (事務局長)<br>宮治 正志<br>長瀬 昌一<br>小川 和子 〕            |                                                                    |
|      |       |                                                             |                                  |                                                                          |                                                                    |
|      |       |                                                             |                                  |                                                                          |                                                                    |

## 桂川・相模川流域協議会 主体別会員数一覧

(2007年3月31日現在)

### ○市民部会

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |             |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| <b>市民会員</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | <b>194名</b> |
| <b>市民団体会員</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <b>20団体</b> |
| おおつき女性交流会<br>桂川相模川流域ネットワーク<br>大月・森づくり会<br>帝京科学大学環境科学科<br>相模湖・津久井湖等の水質保全を求める連絡会<br>相模川キャンペーンシンポジウム<br>平塚の自然を守る会<br>鳩川・縄文の谷戸の会<br>鳩川・水辺の森の会<br>よこはま水と森の会<br>特定非営利活動法人 PPG湘南平塚<br>特定非営利活動法人 森づくりフォーラム<br>全水道神奈川県支部<br>環境ステップアップの会<br>NPO法人 建物と人と環境のフォーラム<br>新ハイキングクラブ横浜支部<br>あらいそECOクラブ<br>あいかわ自然ネットワーク<br>目久尻川をきれいにする会<br>カワラノギクを守る会 |             |

### ○事業者部会

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |             |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| <b>事業者会員</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | <b>35団体</b> |
| フォレストファーム<br>笹一酒造 株式会社<br>シチズンセイミツ 株式会社<br>桂川漁業協同組合<br>山英建設 株式会社<br>東京電力 株式会社 山梨支店大月支社<br>生活協同組合 c o o p やまなし<br>富士燃料 株式会社<br>北都留森林組合<br>有限会社 矢島園芸<br>山正産業 株式会社<br>天野新聞店<br>旭ファイバーグラス 株式会社 湘南工場<br>コカ・コーラ セントラルジャパン 株式会社<br>株式会社 すとるく<br>日鉱金属 株式会社 倉見工場<br>財団法人 神奈川県都市整備技術センター<br>津久井郡森林組合<br>財団法人 北里環境科学センター<br>神奈川県治水砂防協会<br>財団法人 かながわ海岸美化財団 |             |

|                   |
|-------------------|
| 財団法人 神奈川県下水道公社    |
| 財団法人 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団  |
| 財団法人 神奈川県公園協会     |
| J A 神奈川県中央会       |
| 神奈川県企業庁水道電気局利水課   |
| 横須賀市上下水道局         |
| 川崎市水道局            |
| 神奈川県企業庁水道電気局水道施設課 |
| 横浜市水道局            |
| 神奈川県内広域水道企業団      |
| いであ 株式会社          |
| 地域交流センター          |
| ミヨシ石鹼 株式会社        |
| 共生食品 株式会社         |

|                     |             |
|---------------------|-------------|
| <b>事業者団体会員</b>      | <b>4 団体</b> |
| 平塚地区環境対策協議会         |             |
| 厚木愛甲地区相模川水系をきれいにする会 |             |
| 相模川流域下水道事業連絡協議会     |             |
| 相模原の環境をよくする会        |             |

### ○行政部会

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |             |            |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|------------|
| <b>行政会員</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <b>21団体</b> | ( ) 内は担当室課 |
| 国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所 (調査課)<br>山梨県 ( 森林環境部循環型社会推進課<br>富士・東部林務環境事務所環境課 )<br>富士吉田市 (市民生活部環境政策課)<br>都留市 (市民部地域振興課環境保全室)<br>大月市 (まちづくり推進課)<br>上野原市 (福祉環境部生活環境課)<br>道志村 (住民健康課)<br>西桂町 (住民福祉課)<br>忍野村 (保健衛生課)<br>山中湖村 (環境衛生課)<br>富士河口湖町 (環境課)<br>神奈川県 (環境農政部大気水質課)<br>平塚市 (環境部環境政策課)<br>茅ヶ崎市 (環境部環境保全課)<br>相模原市 (環境保全部環境対策課)<br>厚木市 (環境部環境総務課)<br>海老名市 (市民環境部環境保全課)<br>座間市 (環境経済部環境対策課)<br>寒川町 (町民部環境課)<br>愛川町 (環境経済部環境課)<br>清川村 (民生部税務住民課) |             |            |

## 2005(平成17)年度収支決算

### 1 収入の部

| 項目  | 予算額(A)      | 決算額(B)      | 差引増減額(B)-(A) | 備考                                                                                                                                        |
|-----|-------------|-------------|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 負担金 | 3,800,000 円 | 3,799,760 円 | △ 240 円      | 国土交通省京浜河川事務所 140,000 円<br>山梨県 750,000 円<br>神奈川県 2,250,000 円<br>市(人口10万人以上の6市) 300,000 円<br>市(人口10万人未満の4市) 120,000 円<br>町村(12町村) 239,760 円 |
| 会費  | 1,857,000 円 | 1,647,470 円 | △ 209,530 円  | 市民(団体) 267,470 円<br>公営事業者(6事業者) 950,000 円<br>その他事業者 430,000 円                                                                             |
| 参加費 | 250,000 円   | 119,500 円   | △ 130,500 円  |                                                                                                                                           |
| 繰越金 | 1,213,471 円 | 1,213,471 円 | 0 円          |                                                                                                                                           |
| 雑収入 | 20,085 円    | 3,477 円     | △ 16,608 円   |                                                                                                                                           |
| 合計  | 7,140,556 円 | 6,783,678 円 | △ 356,878 円  |                                                                                                                                           |

### 2 支出の部

| 項目               | 予算額(a)      | 決算額(b)      | 残額(a)-(b)   | 備考                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|------------------|-------------|-------------|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会議費              | 688,500 円   | 453,340 円   | 235,160 円   | 会議室使用料 92,400 円<br>総会講師謝礼 28,000 円<br>市民交通費 249,820 円<br>議事録作成等経費 0 円<br>専門部会専門家謝礼 57,570 円<br>資料印刷等経費 25,550 円                                                                                                                                                           |
| 事業費              | 5,674,550 円 | 5,009,025 円 | 665,525 円   | クリーンキャンペーン 72,930 円<br>上下流交流事業 1,148,157 円<br>流域シンポジウム 433,282 円<br>ホームページ運営事業 144,444 円<br>流域ツアー&ウォッチング 130,985 円<br>洗剤対策事業 600 円<br>環境調査事業 234,238 円<br>会報誌の発行事業 691,620 円<br>年報作成事業 531,726 円<br>地域協議会事業費 1,239,470 円<br>流域データベース化共同事業 110,755 円<br>森づくり関係事業 270,818 円 |
| 事務費              | 557,506 円   | 392,387 円   | 165,119 円   | 会議通知郵送料 219,470 円<br>通信費 100,000 円<br>事務局だより 3,316 円<br>事務用品等 69,601 円                                                                                                                                                                                                    |
| 予備費              | 20,000 円    | 0 円         | 20,000 円    |                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 流域マップ作成<br>事業積立金 | 200,000 円   | 200,000 円   | 0 円         |                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 合計               | 7,140,556 円 | 6,054,752 円 | 1,085,804 円 |                                                                                                                                                                                                                                                                           |

収入の部決算額(1) 6,783,678 円  
 支出の部決算額(2) 6,054,752 円  
 差し引き残高(1)-(2)=(3) 728,926 円 (2006(平成18)年度に繰越)

＜積立金＞流域マップ作成事業積立金累計 400,048円

## 2006(平成18)年度収支予算

### 1 収入の部

| 項目     | 予算額(A)      | 前年度予算額(B)   | 差引額(A)-(B)  | 備考                                                                                                                                        |
|--------|-------------|-------------|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 負担金    | 3,760,000 円 | 3,800,000 円 | △ 40,000 円  | 国土交通省京浜河川事務所 140,000 円<br>山梨県 750,000 円<br>神奈川県 2,250,000 円<br>市(人口10万人以上の6市) 300,000 円<br>市(人口10万人未満の4市) 120,000 円<br>町村(10町村) 200,000 円 |
| 会費     | 1,650,000 円 | 1,857,000 円 | △ 207,000 円 | 市民(団体) 270,000 円<br>公営事業者(6事業者) 950,000 円<br>その他事業者 430,000 円                                                                             |
| 参加費    | 40,000 円    | 250,000 円   | △ 210,000 円 | 上下流交流事業<br>@1,000円×40人=40,000円                                                                                                            |
| 前年度繰越金 | 728,926 円   | 1,213,471 円 | △ 484,545 円 |                                                                                                                                           |
| 雑収入    | 40,050 円    | 20,085 円    | 19,965 円    | 預金利子等                                                                                                                                     |
| 合計     | 6,218,976 円 | 7,140,556 円 | △ 921,580 円 |                                                                                                                                           |

### 2 支出の部

| 項目           | 予算額(a)      | 前年度予算額(b)   | 差引額(a)-(b)    | 備考                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|--------------|-------------|-------------|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会議費          | 604,800 円   | 688,500 円   | △ 83,700 円    | 会議室使用料 101,800 円<br>総会講師謝礼 70,000 円<br>市民交通費 300,000 円<br>議事録作成等経費 78,000 円<br>専門部会専門家謝礼 45,000 円<br>資料印刷等経費 10,000 円                                                                                                                                                                                                         |
| 事業費          | 4,592,814 円 | 5,674,550 円 | △ 1,081,736 円 | クリーンキャンペーン 133,660 円<br>上下流交流事業 474,440 円<br>流域シンポジウム 624,440 円<br>ホームページ運営事業 139,624 円<br>流域ツアー＆ウォッチング 135,120 円<br>(新)洗剤対策事業 100,000 円<br>環境調査事業<br>(新)魚道調査・ウォッチツアー 314,300 円<br>身近な水環境全国一斉調査 34,200 円<br>会報誌の発行事業 656,820 円<br>年報作成事業 333,710 円<br>地域協議会事業費 1,310,000 円<br>流域データベース化共同事業 66,000 円<br>(新)森づくり専門部会 270,500 円 |
| 事務費          | 621,362 円   | 557,506 円   | 63,856 円      | 会議通知郵送料 286,810 円<br>通信費 175,000 円<br>事務局だより 6,744 円<br>事務用品等 152,808 円                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 予備費          | 100,000 円   | 20,000 円    | 80,000 円      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 流域マップ作成事業積立金 | 300,000 円   | 200,000 円   | 100,000 円     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 合計           | 6,218,976 円 | 7,140,556 円 | △ 921,580 円   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

# 県境越え環境交流

## 相模川流域の小学生ら 地引き網に歓声

【相模川流域】県境を越え、日中、一帯で地引き網が行われ、小学生らも参加して、地引き網の楽しさを体験した。地引き網は、昔ながらの漁り方で、川底に網を敷き、魚を捕る。小学生らは、地引き網の楽しさを体験し、地引き網の魅力を伝える活動を行った。



地引き網体験を通じて交流する神奈川県、千葉県、埼玉県、東京都の小学生ら

22日



### 豊かな森、川が海の恵みをつくる

【相模川流域】地引き網体験を通じて、豊かな森、川が海の恵みをつくる。地引き網は、昔ながらの漁り方で、川底に網を敷き、魚を捕る。小学生らは、地引き網の楽しさを体験し、地引き網の魅力を伝える活動を行った。



### 山梨の親子と地引き網大会

【山梨県】山梨県の親子と地引き網大会が開催された。地引き網は、昔ながらの漁り方で、川底に網を敷き、魚を捕る。小学生らは、地引き網の楽しさを体験し、地引き網の魅力を伝える活動を行った。



昔ながらの川遊びの場子を再現するグンナイ

川底に多数のごみ  
ヘドロの堆積も…  
11月にシンボで上映

ぐんない

桂川の大変革と環境と  
地域協働

「ぐんない」は、川底に堆積したごみやヘドロを除去し、川をきれいにするという目的で、11月にシンボで上映される。この映画は、桂川の水質改善と環境保護の取り組みを、地元住民や関係者に向けて紹介する。また、川底の堆積物を除去するための作業の様子も、映像で詳しく紹介されている。

「ぐんない」は、川底に堆積したごみやヘドロを除去し、川をきれいにするという目的で、11月にシンボで上映される。この映画は、桂川の水質改善と環境保護の取り組みを、地元住民や関係者に向けて紹介する。また、川底の堆積物を除去するための作業の様子も、映像で詳しく紹介されている。

2006.11.6 朝日新聞

## 桂川・相模川 環境守る試み紹介

12月1日 流域関係者集いシンボ

山梨・神奈川の両県にまたがる桂川・相模川は、水質汚染の恐れがある。流域関係者を集め、環境を守る試みを紹介するシンボが、12月1日、山梨県庁で開かれた。このシンボは、桂川・相模川の水質改善と環境保護の取り組みを、地元住民や関係者に向けて紹介する。また、川底の堆積物を除去するための作業の様子も、映像で詳しく紹介されている。

2006.9.22 山梨日日新聞

「ぐんない」は、川底に堆積したごみやヘドロを除去し、川をきれいにするという目的で、11月にシンボで上映される。この映画は、桂川の水質改善と環境保護の取り組みを、地元住民や関係者に向けて紹介する。また、川底の堆積物を除去するための作業の様子も、映像で詳しく紹介されている。

2006.11.7 読売新聞

## 桂川・相模川の 流域環境シンボ

12月1日 山梨県

山梨・神奈川の両県にまたがる桂川・相模川は、水質汚染の恐れがある。流域関係者を集め、環境を守る試みを紹介するシンボが、12月1日、山梨県庁で開かれた。このシンボは、桂川・相模川の水質改善と環境保護の取り組みを、地元住民や関係者に向けて紹介する。また、川底の堆積物を除去するための作業の様子も、映像で詳しく紹介されている。

「ぐんない」は、川底に堆積したごみやヘドロを除去し、川をきれいにするという目的で、11月にシンボで上映される。この映画は、桂川の水質改善と環境保護の取り組みを、地元住民や関係者に向けて紹介する。また、川底の堆積物を除去するための作業の様子も、映像で詳しく紹介されている。



100  
90  
80  
70  
60  
50  
40  
30  
20  
10  
0



調査結果を説明する関係者  
（左から）相模川水質調査会、相模川水質調査会、相模川水質調査会

## 相模川の水質 下流域で汚れ

協議会が調査結果検討

相模川の水質調査会が、相模川の水質調査結果を協議会に報告した。調査結果によると、相模川の水質は、下流域で汚れていることがわかった。調査結果によると、相模川の水質は、下流域で汚れていることがわかった。調査結果によると、相模川の水質は、下流域で汚れていることがわかった。

相模川の水質調査会が、相模川の水質調査結果を協議会に報告した。調査結果によると、相模川の水質は、下流域で汚れていることがわかった。調査結果によると、相模川の水質は、下流域で汚れていることがわかった。調査結果によると、相模川の水質は、下流域で汚れていることがわかった。

2006.11.3 神奈川新聞

## 環境団体 湘南の110種を紹介

環境団体 湘南の110種を紹介



湘南の水辺で見られる野鳥の情報をまとめた「湘南野鳥図鑑」が、湘南の水辺には環境スポットを掲載した。

## 水辺スポットの地図も

46.4  
22.0  
20.1

湘南の水辺で見られる野鳥の情報をまとめた「湘南野鳥図鑑」が、湘南の水辺には環境スポットを掲載した。

湘南の水辺で見られる野鳥の情報をまとめた「湘南野鳥図鑑」が、湘南の水辺には環境スポットを掲載した。

## 野鳥観察ポイントに

湘南の水辺で見られる野鳥の情報をまとめた「湘南野鳥図鑑」が、湘南の水辺には環境スポットを掲載した。

湘南の水辺で見られる野鳥の情報をまとめた「湘南野鳥図鑑」が、湘南の水辺には環境スポットを掲載した。

2006.11.11 神奈川新聞

## 湘南告知板

シンポジウム・湘南の豊かな自然に生きる野鳥たち 3月11日午後1時半、平塚市浅間町の市博物館講堂 アオバト調査グループの金子典芳さんが湘南での野鳥の姿を、山田文昭さんが平塚市民の鳥「しらさぎ」の今の生息環境上問題を、それぞれ紹介。参加無料。参加者には水辺の探鳥マップと湘南野鳥図鑑一を配る。申し込み問い合わせは、県湘南地域環境総合センター環境保全課（045-833-2226）へ。

2007.2.28 朝日新聞

2007.3.8 読売新聞

## 湘南の野鳥を チームにシンホ

11日、平塚で

11日、相模川流域協議会相模川湘南地域協議会。11日午後1時30分、平塚市浅間町の市博物館で、湘南の豊かな自然に生きる野鳥たち。しらさぎと、シンホチームを聞く。

協議会は、湘南地域の川と野鳥をチームにした小冊子「水辺の探鳥マップ」と湘南野鳥図鑑を作成しており、シンホチームでは、2人の講師が、湘南地域に生息する野鳥の姿や、シンホチームの生息環境などについて報告する。問い合わせは、県湘南地域環境総合センター環境保全課内、協議会事務局（045-833-2226）へ。内線2226。

## 生ごみを堆肥に

相模原で  
ファースラム  
実証実験を報告

生ごみを資源として活用した堆肥を抽出して生ごみ  
用する万策を模る「生ごみから堆肥を作る実証実験」  
ファースラムがこの実験結果が報告された。  
相模原市、星の市、市民グループ、相模川流域協議会が  
立寄環境情報センターで開く。相模川流域協議会が  
開いた。移の回収材で製。はら地産協議会、松川



生ごみの資源化について話し合  
った。生ごみファースラム  
相模原市立環境情報センター

生ごみを資源として活用した堆肥を抽出して生ごみ  
用する万策を模る「生ごみから堆肥を作る実証実験」  
ファースラムがこの実験結果が報告された。  
相模原市、星の市、市民グループ、相模川流域協議会が  
立寄環境情報センターで開く。相模川流域協議会が  
開いた。移の回収材で製。はら地産協議会、松川  
生ごみから堆肥を作る実証実験  
ファースラムがこの実験結果が報告された。  
相模原市、星の市、市民グループ、相模川流域協議会が  
立寄環境情報センターで開く。相模川流域協議会が  
開いた。移の回収材で製。はら地産協議会、松川  
生ごみから堆肥を作る実証実験  
ファースラムがこの実験結果が報告された。  
相模原市、星の市、市民グループ、相模川流域協議会が  
立寄環境情報センターで開く。相模川流域協議会が  
開いた。移の回収材で製。はら地産協議会、松川

2007.3.21 神奈川新聞

## 編集後記

今年は、特に年報の編集を通して学ぶことが大変多かったというのが率直な感想です。印象深かったことは、各地域協議会の活動内容が多彩であり、地域の違いが如実に表れていたことでした。相模川湘南地域協議会が開催したシンポジウム「湘南の豊かな自然に生きる野鳥たち」では会場の定員をオーバーして参加者が殺到して、お断りをしなければならぬほどの人気を博したことなど、それぞれの地域協議会が力をつけてきたという感じがします。

それから、本会の流域シンポジウムでは、山梨県側の流域市町村が勢揃いして、水環境保全のための活動を報告したことも長年積み上げてきた信頼の成果でした。両県を跨いで本格的な協議が、神奈川県における水源環境保全・再生のための税制をきっかけに始まり出したという感を強く持った一日でした。こうした根気と熱気ある動きに、年報の編集を通して携われることは大変光栄です。また、皆さま自身の活動と成果が、年報の中でアジェンダ 21 桂川・相模川の実現のための確かな足跡として確認していただければ幸いです。(M)

————— \* ————— \* ————— \* ————— \* —————

洪水を越流放流する相模湖から若干のゴミがこぼれたとしても、中層から放流する津久井湖から下流へは、上流のゴミが流出することはまずありません。

秒 1000 トン以上の大洪水で湖全体が攪拌されたとしても、大きな流木などが下流に向かうことはありません。

すなわち海に向かうゴミは、城山ダムより下流で捨てられたものだということを明確におさえる必要があります。

と、校正では訂正できませんことを、編集後記にかこつけて書いておきます。(K)

————— \* ————— \* ————— \* ————— \* —————

年報の編集に携わっていると、協議会も実にさまざまなジャンルに関わって活動していることがよくわかるが、それでもまだまだ、手の及ばないことばかりだ。放置されたままの杉やヒノキの植林地をどうしたらいいのか。丹沢のブナが、なぜ立ち枯れるのか。相模湖・津久井湖の富栄養化にストップはかけられないのか…。

アユのカワウ被害もその 1 つ。せっかく川に入れた放流アユがカワウに食べられてしまう。なんとかウを駆除させてほしい… という。困ったことではあるが、カワウはアユだけを選んで食べているのでは決してなくて、「いろいろ捕って食べる中にアユも混じっている」のが正確な表現だ。もともとカワウの暮らす大自然の中でアユを釣らせてもらっているのだから、カワウが捕って食べても釣れるだけのアユが自然に育つ、豊かな川環境を復元させるのが私たちの課題だろう。(A)

————— \* ————— \* ————— \* ————— \* —————

今朝も、自宅の前の川へアオサギが降りてきて、小魚を狙っていた。この川は桂川へ合流し、相模川となって神奈川を流れる。去年、20 年振りに、自治会活動で河川清掃が復活した。だいぶ汚れてはいるが、まだまだ豊かだ。この流域も意外とすてたものではない。自分でゴミを拾えば、自ずからきれいな水への思いは募ってくる。この確かな証、確かな手応え。

流域協議会ってなんだろう？ とふと考える。流域協議会の 2006 年度の活動はこの 1 冊に集約される。

活動報告書は、協議会のバイブル。活動報告書は、協議会のコーランです。(S)

————— \* ————— \* ————— \* ————— \* —————

今回初めて活動報告書の編集に携わりましたが、当協議会の活動が広範な地域にわたっていることを再認識するとともに、山・海・川はつながっているのだなあ、ということを感じることができました。皆さんにとっても、この活動報告書が再認識や再発見のきっかけになればと願っています。(O)

※ ご意見、ご感想がありましたら事務局までお寄せください。

2007年3月発行

編集発行 桂川・相模川流域協議会

事務局 山梨県富士・東部林務環境事務所環境課  
〒402-0054 山梨県都留市田原3丁目3番3号  
電話0554-45-7811

神奈川県環境農政部大気水質課  
〒231-8588 神奈川県横浜市中区日本大通1  
電話045-210-4127